

ウランバートル

モンゴルの首都ウランバートルで発見しましょう。
豊かな文化、活気あるナイトライフ、魅力的なバス旅行、
繁栄するアートシーン、息をのむような自然の美しさが
あなたをお待ちしています。



VIST
Ulaanbaatar
www.visitulaanbaatar.net

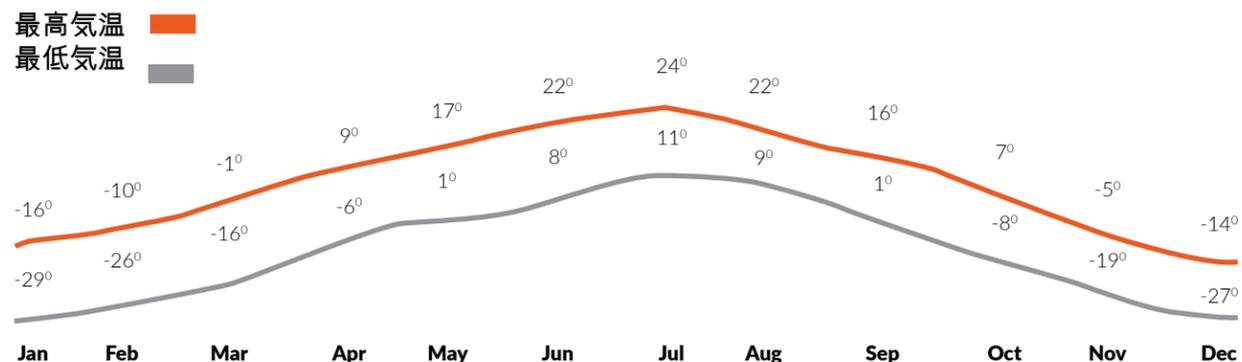
MONGOLIA
ALWAYS MOVING

ULAANBAATAR
magazine



Download Now!

ウランバートル市平均気温



<p>春 : 5 C°</p> <p>風が強く、温かい日々ですが冷え込むと寒いです。</p>	<p>秋 : 7 C°</p> <p>だんだん温かい日々が少なくなり、寒さが強くなるとともに雪が降り始める。</p>
<p>夏 : 30 C°</p> <p>日中は暑い。ただし、雨が降る時は冷え込む時もあります。</p>	<p>冬 : -25 C°</p> <p>世界一寒い首都ですので防寒着が必要です。</p>

<p>経度 緯度</p> <p>106 55' 12" E</p> <p>47 55' 12" N</p>	<p>面積</p> <p>4.704.4 Km²</p>	<p>年間のモンゴルを訪れた外国人旅行者数</p> <p>808,956</p>
---	--	---

<p>タイムゾーン</p> <p>GMT +8</p>	<p>電圧</p> <p>220V 周波数 50HZ</p>
------------------------------------	---------------------------------------

<p>国際電話国番号</p> <p>+(976)</p>	<p>人口</p> <p>Mongolia 3'504'741</p> <p>Ulaanbaatar 1'640'781</p>	<p>通貨</p> <p>MNT</p>
-------------------------------------	--	-----------------------------

目次

- ウランバートル..... 2
- モンゴルのゲル..... 6
- モンゴル文字 7
- モンゴルの 民族衣装..... 8
 - モンゴルの神秘的な..... 10
- シャーマニズム..... 11
- 仏教 13
- ダンシグ・ ナードム..... 14
- モンゴルの 民族芸能の素晴らしさを知る 18
- 朝から夜まで 25-30
- HOTEL..... 31-32
- シティツアー 33-36
- シティツアー 37- 38
- 世界の高級ブランド..... 39
- デパート・ 商業センター 42
- 夜のウランバートル 45
- ライブ音楽 46
- UB EVENT 47
- デール・ フェスティバル..... 53
- ウランバートル 周辺の見どころ..... 54
- テレルジ国 立公園 58
- モンゴル：数回クリックするだけで..... 60
- ウランバートル 近郊のアウトドア活動 62
- UB周辺の屋外レクリエーション活動 64
- 「エコ・ ウランバートル360 ガイド」プロジェクト 68
- ウランバートル市でのバードウォッチング 70
- 歴史・ 文化の名スポット 72
- ボグドハーン山..... 74
- モンゴルオルレハイキングコース 76
- ウランバートル市内のハイキングコース..... 78
- モンゴル向け観光客の付加価値税 (VAT) 払い戻しの案内 79
- モンゴルでの免税ショッピングに関する重要な情報 79
- 観光情報センター..... 81

ウランバートル



街の大小にかかわらず、それぞれの街には素晴らしさや特徴、その土地の風土があり、歴史的遺産を受け継ぎながら二度と戻らない時間の中で悠久の歴史と新しい文化を創り続けている。すなわちこれを古代ローマ人たちはゲニウス・ロキ(その土地柄)と名づけた。

現在のモンゴル国の首都ウランバートルは400年の歴史を持ち、1億年の地球の歴史を街の中に保存していると言える、あなたは信じられるだろうか？

そう、あなたの聞き間違いではない。現代のウランバートルは何億年の地球の歴史の足跡を保存しているだけでなく、2千年も前の遊牧帝国の歴史の遺跡、モンゴル帝国の輝き、他では見ることのできない仏教芸術の至宝、先史時代の遊牧民の壁画などを街の中心部に保管し、現在世界中に散らばったモンゴル人たちの心の拠り所としてあり続ける生きた街である。

ウランバートルは誇りある歴史、語り継がれる伝説、美しい自然、神秘的寺院、斬新な近代建築を持ち、訪れる人々を暖かく迎える100万人都市である。

ウランバートルでゆったり滞在し、この街の雰囲気を感じ、もてなし好きなウランバートル市民と触れ合うといい。ウランバートルはあなたの旅行をもっと豊かにし、素晴らしい思い出が残るだろう。それゆえ、読者の皆さんをモンゴルの中心ウランバートルに「ようこそ」と歓迎する。それではツアーをこのページから始めよう。

モンゴルの政治の中心地

毎年世界中から何十万人もの旅行者がウランバートルを起点にモンゴル旅行を開始する。訪れる旅行者にはモンゴルの中心であるウランバートルに滞在し、より深く観光することをお薦めする。なぜなら、ここにこそ遊牧民族モンゴル人の歴史的遺跡があるからだ。もしあなたがウランバートルの美術館、図書館、博物館、昔の寺院、劇場、展示会を訪ればそれが分かるだろう。ウランバートルにゆっ

たり滞在し、ここだけの文化的雰囲気に溶け込み、ふれあい、昔と今のモンゴル人について知識を深めれば、美しい自然の旅もさらに豊かで意義深いものになるだろう。

まずはウランバートル市の中心にあるスフバートル広場に行ってみるといい。スフバートル広場の北側にはチンギスハーン像、政府庁舎がある。この政府庁舎にはモンゴル帝国の皇帝や騎馬将軍像、中の博物館にはモンゴル高原の歴代遊牧帝国、大モンゴル帝国、ガラスで作ったチンギスハーンの肖像画、国家の象徴である9本の白い旗、迎賓用のゲルやモンゴル政治歴史博物館などがある。政府庁舎にあるモンゴル政治歴史博物館に行けば、2千年以上前のモンゴルの遊牧帝国に伝わる祭具を見ることがお薦めする。ここにはモンゴルの政治式典の祭具、昔の皇帝の玉璽、条約文書などここにしかない貴重な展示物が展示されている。

チンギスハーンはモンゴル人にとって世界征服をした軍事的指導者ではなく、ばらばらに分裂したモンゴル人をまとめ、遊牧帝国を設立し、法律を定め、文化・経済で多くの改革を行い、モンゴル人の発展の礎を作った英雄と考えられている。そのため、モンゴル人は彼の戦いと征服の歴史よりも、彼の類まれな才能を尊敬している。現在、千年に一人の英雄・チンギスハーンの遺跡をウランバートルで見ることができる。

スフバートル広場には外国人旅行者だけでなく市民も好んで訪れる。広場で自転車に乗ったり、ロースケートを楽しむ子供たち、スフバートル像の周りの狛犬の口をつないだ鎖に座っておしゃべりする若者たち、結婚式を挙げた新郎新婦、大学の卒業式を終えた学生、30年40年ぶりの同窓会に集まった「同級生」など、よく見ると人生の多くの場面に出くわす。実際にモンゴル人の人生の全ての思い出は、この広場と切り離すことができない。



ウランバートルはモンゴルの民主化の原点であり、新時代の文化芸術、教育・科学、ビジネス・経済の中心である。現在、ウランバートルには100以上の大学で17万人以上の学生が学び、高い教育を受けたビジネスマン、モンゴルや世界の企業のトップマネージャー、何千人もの公務員が通りを歩いて街の鼓動を生み出し、高層建築のビジネスセンターにあふれている。多くの博物館やギャラリーはモンゴル

の芸術の遺産となったすばらしい作品や近代絵画の画家たちの展覧会を開き、劇場の舞台では現代劇や世界のクラシックが演じられ、最新設備が整った映画館ではモンゴルやハリウッドの新作が封切られ、多国籍料理など幅広いメニューのレストランでは友達、同僚、家族と過ごし、若者はコーヒーショップでおしゃべりをしたり、眼が回るようなリズムのナイトクラブではモンゴルと世界の有名DJによって若

者たちが夜遅くまで踊る。世界の有名ブランド店が入るガラス張りの高層ビルの横を、銀飾りのついたベルトを締めて民族衣装のデールを着た馬飼いの若者が堂々と歩く姿を見ることができるのはここだけである。

最近のモンゴル女性は雑誌コスモポリタンをモンゴル語で読み、ビジネスマンは雑誌Forbesのモンゴル

語版をめくり、世界の最新の経済情報をブルームバーグ・モンゴリアから毎日入手しており、読書好きな者はA.カミュ、F.カフカ、村上春樹などの作品を忙しい平日の合間にも読破する。これこそがウランバートル市民の日々の生活であり、彼らの生活のリズムである。おそらく世界の多くの街にもあるリズムである。しかし、あなたが今まで感じたことのないリズムがここにはあるかもしれない。



モンゴルのゲル

モンゴルに住んでいた古代の民族や部族の住まいとなるフェルトで造るゲルの歴史は紀元前500年に上っており、つまりフェルトを製造してゲルを覆ってカバーし始めた頃から始まります。そのため、モンゴルのゲルは2500～3000年の歴史を持っており、13世紀頃から現代のゲルの形に大分近づいたとのことです。

ゲルの円い形状によって住まいの面積利用率を最大限にしており、壁の低さが移動に最適である上に風に対して安定しており、フェルトで覆うことで温かく、トーノ（ゲルの天井にある円形の窓のような開口部分）を通じて空気や明かりが入ってきます。

モンゴルは1年の内、約300日間には晴れており、秋、冬、春の寒い季節にトーノを通じて入ってくる太陽熱でゲルを暖めます。モンゴル人は昔からトーノから射した太陽の光で時刻を分かることができました。例えば、朝日が西側の内壁の上部に射す

ため午前中の時刻は内壁の上部に射した位置で計算し、午後にはゲルの東の奥に敷かれた絨毯に射した位置で夕方までの時刻を大体分かります。ちなみに、旧名サイン・ノヨン・ハン・アイマグのダライ・チヨインホル・ワンギーン・ホシヨー出身の職人はゲルの奥に敷く半月型の絨毯を日時計の目盛りを入れて作っていたと伝わっています。

ゲルの容量は壁（ゲルの壁は畳むようになっており、1枚ずつ広げて互いに繋いで円形にして建てる仕組みとなっています）の数で定まっていますが、昔にはゲルの壁の数を奇数で造っていたのですが、最近は偶数で作るようになりました。例えば、現代のモンゴル・ゲルの壁の数は4枚、6枚、8枚、10枚、12枚となっています。最も大きなゲルには壁1枚あたりに1人がベッドと持ち物を合わせて入れるとされており、この計算では壁12枚のゲルに12人が各自ベッドや持ち物をもって入れるようになっています。



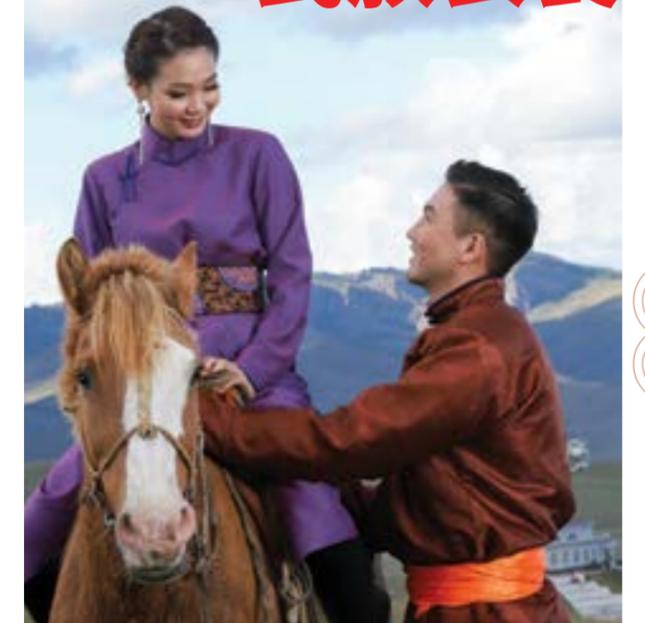
モンゴル文字

モンゴル文字は13世紀にウイグル文字から派生した文字です。チンギス・ハーンに支えたウイグル人のタタ・トゥンガがモンゴル文字をモンゴル帝国に広めたことで有名です。モンゴル文字は縦に書き、左から右に綴られます。モンゴル文字は満州文字やモンゴル諸語のオイラト語を表記するために考案されたトド文字の基になりました。モンゴルではモンゴル文字以外に契丹文字、パスパラムが1269年に作成したパスパ文字、ザヤ・パンデイタが1648年に作成したトド文字、ジュブズندان

バ1世・ザナバザルが1686年に作成したソヨンボ文字、ハンチェン・アグワーンが1905年に作成したワギンダラ文字、ラテン文字が使われていました。古代いわゆるウイグル式モンゴル文字の最古の資料として1267年のアバガ・ハーン、1289年のアルグン・ハーン、ウルジート・ハーンの勅書など貴重な遺産が現存されています。モンゴル文字は7母音と26子音をもつ表音文字です。



モンゴルの 民族衣装



モンゴルの民族衣装は数百年の豊富な歴史を持っており、モンゴル人の生活の様式が完全に浸透しています。気候、生活環境や四季によって民族衣装の種類は多様多様です。夏には一重や薄い布の裏地のテルレグというデール（丈の長い上着を指します）、春や秋には綿入れのデール、或いは子羊の毛皮を裏地にしたデール、冬には羊の毛皮で作ったデールを着ます。

モンゴルの民族衣装は丈が長い上着で、帯を結びます。帯には日常的に必要な様々なアクセサリを付けます。例えば、ナイフと火起こし道具、嗅ぎタバコ、キセル袋などを付けて携帯します。遊牧民のナイフの鞘にナイフは勿論、お箸、爪楊枝、毛抜きなどを入れるようになっていました。これらのアクセサリはほとんどが貴金属で作られており宝石で飾ることもあります。

どんな服装を着ているかによってその人の地位や身分を伺うことができます。女性の服装では既婚者が未婚者かを分かります。民族衣装は古代では素朴なものだったが次第に様々な模様や貴金属及び宝石で飾りようになったのです。服の飾りは文化や伝統習慣と密接に関係しています。

モンゴルのデールは左に打ち合せがある上着です。デールは加工した皮、布、毛皮、綿などの素材で作っており、模様、貴金属や宝石、真珠やサングの飾りやアクセサリを取り付けることがあります。モンゴルの諸民族は民族ごとに独自のデールのスタイルや作りをもっており、飾りやアクセサリ、帽子、靴も多様多様です。最近はモンゴル人がデールを着ることが広がっており、祭りなどではデールを纏った若者のお洒落な姿が目立ちます。



モンゴルの神秘的な



シャーマニズム

モンゴルで昔から受け継がれた宗教はシャーマニズムです。モンゴルに住んでいた諸部族は紀元前3世紀までは原始時代におり、いわゆる新石器時代からシャーマニズムを信仰してきたとされています。

シャーマニズムはテングリを崇拝しており、テングリは人間の生活、その環境となる自然、大地、水、植物や動物、自然の様々な現象、また先祖を支える主な守護神とされている。テングリはその下に人間や自然現象を守護する多数の神を司ってお

り、その名もテングリで99のテングリがあると定まっており、人間に幸福をもたらす西側の55のテングリと悪をもたらす東側の44のテングリがあるとされています。これらの東西のテングルという神々は常に争っているため世間には幸福と苦しみが繰り返して起きていますと説明されています。シャーマニズムの思想では世間は3つの世界からなっており、具体的にはテングルの世界、いわゆる天国と地獄、この2つの世界の間に中間の世界という3世界があるとされています。



仏教

モンゴルの主な宗教は仏教です。仏教はモンゴルに3回にわたって栄えており、第1回目はモンゴルの高祖である匈奴の時代と研究などで証明されています。仏教の第2回目の最盛期は13～14世紀、いわゆるチンギス・ハーンからトゴントウムルハーンの時代に遡ります。なお、モンゴルでの第3回目の仏教の最盛期には1578年に第3代ダライ・ラマがモンゴルに訪問し、ツォンカパによるゲルク派の教えがモンゴルに広まり、沢山の学僧が育ち、

数百に上る寺院や仏教の哲学の修道院などができました。この時代の仏教の主な代表者はハルハのウンドゥル・ゲゲン・ザナバザル（ジュブズンダンバ1世）であり、モンゴルの仏教の倫理、寺院や修道院の規律、お経の独自の方法などを定めました。その際、外国の習慣やしきたりにそのまま従うことなく、モンゴルの伝統や文化に適合させて、モンゴル独特な仏教の特徴を生み出したことは本人の高度な知恵と才能を裏付けます。

ダンシグ・ナーダム



まるで400年前にタイムトリップしたような現代の祭り

ダンシグ・ナーダムの期間中、エリン・ゴルワン・ナーダム、ツァム(仮面宗教舞踊)、僧侶による仏具製作コンテスト、読経コンテスト、宗旨問答など様々な競争が行われ、このナーダムをより興味深いものになっている。

ダンシグ・ナーダムはモンゴルの独立を守った国のナーダムだと言える。

—歴史家S.チョローン



ダンシグ・ナーダムを復興させる際、1728年に第2代活仏が即位したときのダンシグ・ナーダムをどのように開催し、どのような式典を行ったのかなどの詳細が、1861-1910年の間モンゴルに駐在した領事館員が残した「モンゴル国民の祭り」にはチラシとともに記録されており、マクサル・ホルツが書いた「ドローン・ホショーのダンシグ・ナーダム」という小説やキャフタの商人ルジニコフが1896年に家族で旅行した時に撮影した写真に基づいて再現された。

ダンシグ・ナーダムの歴史

大モンゴル帝国の最後のハーンであるリグデン(リンダン)・ハーンが1634年に崩御してから1911年までモンゴル国のハーンは空位だった。この困難な時代にダンシグ・ナーダムは、バラバラになったモンゴル人の心をまとめ、自国の領土、宗教文化を守る意識を高め、モンゴル人の独立と宗教文化の独立性を表明するために行われていた。最初のダンシグ・ナーダムは初代活仏のウンドゥル・ゲゲーン・ザナバザルが開催し、今のウランバートルの街ができるきっかけとなった歴史と関係がある。

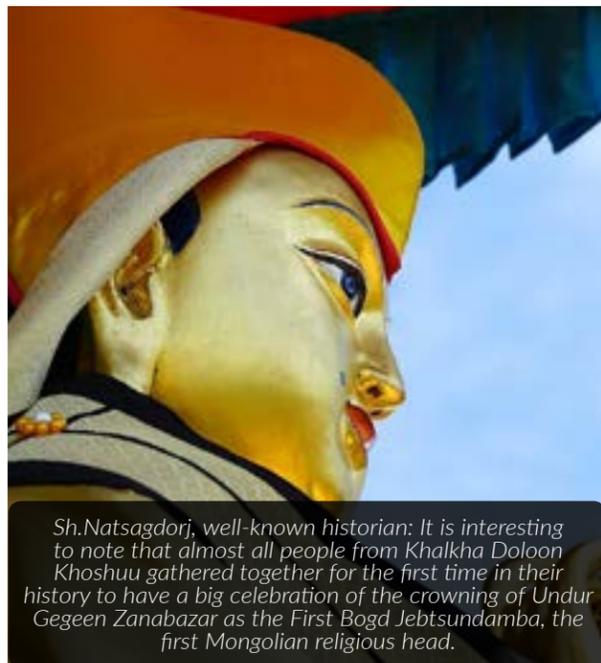
トシェート・ハーン(ゴンボドルジ)の息子でチンギスハーンの直系の子孫である5歳のザナバザルが初代活仏・ジエプツンダンバ・ホトクトに即位した祝賀式典として行われたダンシグ・ナーダムを、シレート・ツァガン・ノールという土地で1640年に初めて開催した。この最初のダンシグ・ナーダム以降、ハルハ7旗の一族の貴族、学者・僧侶が集まるようになった歴史がある。このナーダム以降、ハルハモンゴル人が初代活仏ウンドゥル・ゲゲーン・ザナバザルの周囲を固めるようになった。



最初のダンシグ・ナーダムのモンゴル相撲で、僧侶の若者が優勝し、それ以降その僧侶をブフ・ラマ（カ士僧侶）と呼ぶようになった。一方、競馬ではモンホルの馬が優勝した。それ以来、ダンシグ・ナーダムで優勝したカ士、馬を称え、表彰式を行うようになり、「ハルハ7旗ナーダム」が毎年開催されるようになった。

ダンシグ・ナーダムの際、相撲のカ士たちは政治問題についても話し合うようになった。こうして、1910年のダンシグ・ナーダムの時ハルハの影響下にある貴族、僧侶がボグドハーン山のヌフト渓谷で秘密会議を行い、モンゴルの独立について話し合い、帝政ロシアに支援を要請することで合意し、チンワン・ハンドルジ、ダー・ラマ・ツェレンチメド、内モンゴルの官僚ハイナンらを任命し、モンゴル独立運動を行うことを決定した。

ダンシグ・ナーダムの復活によりモンゴル人が大切にしている文化遺産が消滅を免れ、モンゴル人と外国人と一緒にこの祭りを楽しむことを願っている。これこそが、現代の国のナーダムの流れをくむダンシグ・ナーダムである。



Sh.Natsagdorj, well-known historian: It is interesting to note that almost all people from Khalkha Doloon Khoshuu gathered together for the first time in their history to have a big celebration of the crowning of Undur Gegeen Zanabazar as the First Bogd Jebtsundamba, the first Mongolian religious head.



モンゴルの民族芸能の 素晴らしさを知る

モンゴルの民族芸能であるオルティンドー(民謡)、ホーミー(喉歌)、馬頭琴、

ビイ・ビイレゲー舞踊などはユネスコの無形文化遺産に登録されている。

オルティンドーとホーミーどの国の民族にも伝統的な芸術は民族・部族の生活や習慣、世界観の特徴に深く根差している。モンゴル人の音楽好きな性格の原点は何といてもオルティンドーとホーミーにある。モンゴル人のよりどころであり、彼らが自然を崇拝し、人類社会を深く探求する世界観の秘密を音楽を通して理解する際には、ホーミー、オルティンドーが手掛かりになる。ホーミーを聴くと遠くの山脈の風景、水や風の音、動物や鳥の鳴き声、人と自然が一体となり、心の中の世界が開かれていくような気がする。また、馬頭琴の調べは見渡す限りの草原が目に浮かび、オルティンドーの自由でのびやかな旋律は心の深いところを揺さぶり、時間や日々の暮らしを忘れさせる。オルティンドーとホーミーを聴くには、劇場では狭すぎると感じるだろう。

コントーションと民族舞踊

ウランバートルを訪れた人が必ず見るべきもう一つのは、コントーション(軟体芸)である。昔から皇帝や貴族の宮殿で祭りや祝いの席で少女や女性が仏像の荘厳さ、生き物の形や動き、美しい模様をまるで関節がないかのように柔軟な身体で表現する芸だ。

一方、モンゴル舞踊の美しい形、モンゴル人の心の動きを表した民族舞踊とビイ・ビイレゲー舞踊も忘れることはできない。中央ハルハ地方の舞踊にはモンゴル人が大切にしている心、相手に尊敬を表す動き、優雅でしなやかな動きがもとになっており、一方西部モンゴルの部族の舞踊には手と胸の早い動き、肩を揺する動きなどが強調される。

モンゴル舞踊、ビイ・ビイレゲー舞踊、軟体芸に合わせて馬頭琴の演奏とオルティンドーとホーミーを歌う驚くべきパフォーマンスをぜひ見てほしい。

民族音楽舞踊
アンサンブル

民族の
美しさ





NOMADIC LEGEND

National art performance and cultural heritage

 "THE LEGEND OF NOMADS"
  «ЛЕГЕНДЫ КОЧЕВНИКОВ»
  《游牧民族传奇》
 "LEGENDE DER NOMADEN"
  "THE LEGEND OF NOMADS"
  《遊牧民の伝説》

2025.05.01-09.30 | **2025.07.01-08.31**
EVERY DAY | **EVERY DAY**
at 6:00 pm | **at 4:00, 6:00 pm**

Tsagaan Lavai Ensemble has more than 50 professional artists who create folk artworks and cultural heritage creations. In addition, its a professional art organization that manages a variety of cultural and artistic entertainment services and operates regularly in the four seasons of the year.



 Tsagaanlavaiensemble@gmail.com
 Tsagaan Lavai Ensemble

 72720011, 91616641

MONGOLIA
ALWAYS MOVING



THE LEGEND OF GENGHIS KHAN

MONGOLIAN NATIONAL HORSE SHOW

EVERY DAY FROM JUNE 5, 2025 TO
SEPTEMBER 15, 2025



このアンサンブルはウランバートルの旅行者向けにモンゴルの民族芸能のエッセンスを抽出して披露する。この公演は民族音楽と民謡を通じてあなたを天にそびえるアルタイ山脈の頂上や美しいフスグル湖のほとり、東モンゴルの大平原、南ゴビの雄大な自然に連れて行ってくれる。このアンサンブルに来れば、あなたはモンゴル舞踊の素晴らしさ、オルティンドー、ホーミー、ビイ・ビイレゲー舞踊、軟体芸をまとめて見ることができる。また、民族音楽舞踊アンサンブルの演目にある「モンゴルの妃たち」「チンギスハーンの子孫」「太陽の伝説」「遊牧民」などの舞踊劇、「サラフフーの系譜」ミュージカルを見る機会があれば、見逃す手はない。

モンゴル国家音楽祭典

モンゴル国家音楽祭典の歴史は匈奴帝国の時代に始まり、13-14世紀に最盛期を迎え、世界史上類を見ない規模と構造の国家式典音楽を作った。モンゴル帝国の歴代皇帝の音楽祭典について、マルコ・ポー

ロ、プラノ・カルピニ、ウィリアム・ルバークら歴史家の記録に残っているほか、元朝秘史、元史、アルタン・トプチ、ボロル・エルヒ、フフ・ソダルなどの歴史書、宗教書にも記録されている。

モンゴル民族の祭典は深い象徴的意味合いがあり、モンゴルの音楽文化の伝統と、知的文化への誇りが込められている。

モンゴル国家音楽祭典は昔の足跡を詳細な規則に従い行

われ、現在の音楽祭は元朝時代の国家音楽祭典で演奏されていた曲を再現していることが特徴だ。それゆえ、音楽祭典で流れる曲は800年前から聞こえてくると言ってもよいだろう。

モンゴル国家音楽祭典はモンゴルの国家式典、歓迎式典、外交式典の際に開催される規則となっている。

馬頭琴アンサンブル

馬頭琴を弾くと遥かなる草原と澄み渡る青い空、馬の群れが思い浮かび、外国人はモンゴルを旅してみたくなり、外国に住むモンゴル人は郷愁に涙を誘うほど、馬頭琴の調べには人の心を動かす力がある。

モンゴルが誇る馬頭琴アンサンブルのメンバーはプロの演奏家で構成され、彼らはみな高い才能と実力を持っている。馬頭琴アンサンブルは中国、韓国、北朝鮮、カナダなどでツアーを行い、ロシアのポリショイ劇場、フランスのユネスコホールや、イタリア、オーストリアのウィーン楽友協会、スイスの国連ホール、ドイツ・ベルリンフィルハーモニー、日本のサントリーホール、アクロス、オーチャードホールなど世界の有名な舞台で演奏してきた実績がある。馬頭琴アンサンブルの「素晴らしきモンゴル」「Playing love」「Novel Melody」など多くの素晴らしいナンバーが毎回演奏される。

新時代の民族音楽バンド

ウランバートルの舞台上で「アルガ・ビレグ」「アルタン・オラグ」「フスグトン」「ドモグ」など多くの民族音楽バンドがオリジナル曲を発表している。彼らは民族音楽のスタイルをロックやジャズなど現代音楽にミックスした新時代の音楽を生み出している。

最近の民族音楽バンドは国際映画プロジェクトにも参加し、世界的に有名な舞台で演奏し、音楽祭にも参加し、彼らの作品はグラミー賞など名誉ある賞にもノミネートされている。

ウランバートルには民族音楽や舞踊の多くのグループがあるが、残念ながらここですべてを紹介することはできない。昔の遊牧民の時代から皇帝の宮殿で多くの人々を喜ばせてきた民族芸能の素晴らしさ、伝統を拡大し今の時代の芸術と かけ合わせた素晴らしいパフォーマンスはウランバートルでだけ見ることができる。

THE WONDER OF MONGOLIAN FOLKLORE

人形劇場

モンゴル国立人形劇場は1948年に設立され、今日までの75年間では子供に向けて多数の人形劇の作品を生み出し、文化や芸術の教育を提供している唯一の劇場です。人形劇場の俳優たちは国際人形劇フェスティバルなどに参加し、作品を披露すると共に国際交流を深め、モンゴルの文化や伝統習慣を国外に宣伝しています。

Tumen Ekh楽団

「Tumen Ekh」伝統文化楽団はモンゴル民族伝統芸術、モンゴル長唄、民族舞踊、民族楽器、古代及び現代のハルハ・モンゴルの舞踊、ホーミー、賛美歌、コントーション、ツァム（仏教の舞踊）及びシャーマンの踊りなど豊富な興行があり、常に国際的にモンゴルの伝統芸術を振興することに力を注いでいます。

モンゴル国立大劇場

国家芸術大劇場は1950年に設立されました。民族歌舞の尽きない遺産、二度とない独自の文化の振興を推進しています。この劇場はモンゴルの昔からの音楽、舞踊の豊富な遺産を受け継いでいます。

国立オペラ劇場

オペラ劇場はオーケストラ、ソロイスト、バレエ、合唱などの芸術部門、修繕部門、舞台・照明部門などがあり、280人の職員が勤務しています。レパートリーには世界及びモンゴルのクラシックとなる100以上のオペラがあり、1年に26のオペラや21のバレエを100回以上にわたって興行しています。

国立ドラマ劇場

国立ドラマ劇場は1956年に設立されたモンゴル初の有数の劇場であり、700~800人を収容可能な2つのホールを有し、容量500人の舞踏ホールがあります。この劇場では世界又はモンゴルのクラシック作品が興行されており、シェイクスピアの「ハムレット」、「リア王」、「オセロ」、「マクベス」、「リチャード3世」、「ロミオとジュリエット」などの傑作が興行されました。

HUMAN 劇場

HUMAN劇場は2019年に設立され、ゲルを劇場にした独特な施設です。民族文化遺産や伝統芸術を広く宣伝しています。

朝から夜まで

市内の通りのあちこちで見かけるレストランは、それぞれの特徴を打ち出して競い合っている。いろいろな国の料理が朝から夜まで食べられる。遊牧民が都市生活の様式に彩りを加え、世界各国の料理を食べ、学び、作っている

遊牧民の料理

旅行者にとって、モンゴル料理は印象深いだろう。ホルホグ、ボードク、ホーショール、ポーズ、内臓スープ、茹でた肉などの料理がどのような味が、ぜひ試してほしい。モンゴル料理は、高級レストランから街角の大衆食堂、親しい友達の家など、どこでも食べられる。それぞれの味に違いがある。

王様のようにくつろいで

扉を入るとフランス風の家具や昔の遊牧民の写真が飾ってあるホールのあるフランスレストランでは、フランス料理だけでなく、そば粉で作ったいろいろなデザートを楽しめる。王様のようにくつろいで召し上がれ。

お気軽な寿司

新鮮な魚と良質な米が素晴らしい和食レストランでは、牛のスペアリップの入ったうどん鍋も楽しめる。

回転寿司は色の違う皿にいろいろな種類の寿司が流れており、白、赤、グレー、黄色などの色は寿司の値段を表している。4-6人掛けの個室、寿司のセットのほか、梅酒、日本酒、日本のビールも選べる。

白樺の森

ウランバートル市はロシア風の街だと言えば、当たり前とも遠からずだろう。ウクライナ料理、ロシア料理では、焼き物は少なく煮物が多いので優しい匂いが鼻をくすぐる。ぶどうやひまわりの模様で飾った壁、テーブル、床。一つ問題は、満席で少し待つ必要があるということだ。料理と一緒に白樺の樹液が入ったウクライナの酒を頼むといい。周囲で注文を待ったり、食事を楽しんでいる客の会話もにぎわっている。お腹も心も満足して店を後にするときには、白樺の森に行ってきたような気分になるだろう。



食べきれないほど

ウランバートルにはイタリア料理の選択肢はいくつもある。黒いカーテン、緑の光沢ある床や壁、白い天井、茶色いテーブル、ライトグレーのカバーのついた椅子、広々としたカウンター、焼き立てのパン・・・イタリアの Pasta の味をここでも出せると彼らは自信を持っている。薄くて少し焼き色のついたピザ、でき立ての手作りパスタがおすすめ。ここでは本場イタリアの味が楽しめる。

アメリカンドリーム

お望みの物は何でも揃えるのがアメリカンスタンダードだ。塩、コショウ、醤油、油、ケチャップ、ステーキソースがテーブルの上に並んでいる。パーティーはカクテルをシェイクし、高い黒テーブルとガラスのパーティションのある茶色のシートは客であふれている。道を行きかう車や急ぎ足の人々を眺めて座っていると、ウェイターが注文を取りにあなたのところに来るだろう。メニューには鶏肉、豚肉、牛肉、クリーム、サルサ、トマト、玉ねぎ、チーズなどの言葉が最も多く入っているのがアメリカンスタイルのレストランの特徴だ。

仏陀からのメッセージ

訪れた客すべてを心からもてなすインドの文化はウランバートルでも味わえる。ナマステ。サンスクリット語のこの挨拶は、相手に幸せ、信頼、喜び、敬意を伝えるメッセージである。インドでインド料理を食べたことがある人がモンゴルのインド料理のほうがおいしい、インドでは少し焦げた味がするというのをよく聞いた。万年雪のヒマラヤ山脈に生える香辛料とモンゴルで育った材料がどのように調和しているか、ここで味わってみてほしい。見た目よりも味と香りが旅行者を虜にするだろう。低めの天井、金色の床、赤色のテーブルクロス、温かな部屋を、ピカピカのサンダルを履いてサリーを来た女性の笑顔が飾り、インドの代名詞でもあるカレーのスパイシーな香りに食欲がそそられる。

おしゃれなアジア料理

ウランバートルには台湾料理が食べられるレストランはそれほど多くない。台湾レストランではいろいろな種類の点心が食べられる。点心を作っている様子をガラス越しに見られる店もある。モンゴル人が最も多く行くレストランは韓国料理である。そのため、ウランバートルでは高級店から庶民の店まで多くの韓国レストランがある。あなたは自分の好みに合わせて韓国レストランを選ぶことができる。

ファストフード

ウランバートルにはモンゴルおよび世界のファストフード店がある。モンゴルのファストフード店では

モンゴル料理からヨーロッパ料理を提供するほか、世界中で親しまれたケンタッキーフライドチキンやピザハット、バーガーキングはいかがだろうか。ファストフードは味気ないって？自然食品で作ったモンゴルのファストフードはあなたに気に入ってもらえるだろう。

龍の咆哮

隣人は選べないと言う。モンゴルは料理大国に隣接している。長い歴史の中で、モンゴル料理のメニューの中に中華料理も入ってきた。ポーズ、ホーショール、ツォイワンなどの料理は中国から伝わってきたと言われている。もちろん遊牧民はこれらの料理をモンゴル料理にする時に、肉の量をかなり増やしたが。ウランバートルには中華料理のレストランも多い。あなたは自由に選べる。もし良いガイドがあれば、あなたは最高のサービスと味のレストランを選べるだろう。

一晩に5つの感覚

ウランバートルでは一晩に5つの感覚を味わえる。白いグラスを持って踊る高級クラブから始めよう。壁や柱を赤レンガむき出しで作り、強い照明のクラブでは熱狂的なサッカーファンと乾杯しよう。生演奏、サルサ、トランス、ヒップホップ、R&Bの音楽で夜が明けるまで踊ってもいい。25歳以上限定の場所もある。ウランバートルの若者たちの間にはクラブ文化が広がり続けている。





MODERN NOMADS レストラン

MODERN NOMADSは2003年に第1号店をオープンし、その後、チェーンレストランとして成長しました。このブランドは、創業以来、現代的な調理法と伝統的なモンゴル料理の本格的な味を組み合わせることで、地元の人々と海外からの観光客の両方を魅了してきました。



KHAAN BUUZファストフード店

国立デパートの向かいに位置するこのファストフード店は、平和大通りの最高のロケーションにより、最も人気のあるダイニングスポットの1つです。写真付きの英語メニューが用意されているので、簡単に選ぶことができます。24時間営業で、手頃な価格でビュッフェスタイルの食事を楽しめます。



GRAND KHAAN IRISH PUB

世界中にアイリッシュパブがあるなら、ウランバートルでもきっと満足できるでしょう。2005年にオープンしたGRAND KHAANは、本格的なギネスを含む新鮮な生ビールを提供しています。メニューには、ラムシャンクやシチューなど、伝統的なアイルランドの肉料理が揃っています。



YUNA韓国料理レストラン

このレストランでは、新鮮なシーフード、野菜、サラダなど、さまざまな韓国料理をさまざまなトッピングやソースとともに提供しています。お料理はすべてプロの料理人が丁寧に調理いたします。



KFC

モンゴル初のKFCレストランは、2013年5月に国立図書館の隣にオープンしました。現在、ウランバートルには8店舗あり、さらに増え続けています。おいしいフライドチキンで知られるKFCは、モンゴル人の中で人気の選択肢となっています。



PIZZA HUT

PIZZA HUTは2014年にUB市の西郊、第3地区に最初の店舗をオープンしました。それ以来、フランチャイズは拡大し、現在ではウランバートルのさまざまな地点に店舗を展開しています。



SSEOULレストラン

モンゴル初の高級韓国料理レストラン&クラブ! 1996年に設立されたソウルレストランは、国内最大級の飲食店の1つです。



DONY PORK

2018年にオープンしたこのレストランは、豚肉のグリル料理で有名です。



NAADAM

NAADAMは、活気のあるカジュアルなダイニング会場であり、バーとしても機能しています。エンターテインメントの目的地として、NAADAMではモダンなメニュー、ライブ音楽、さまざまなパフォーマンスをお楽しみいただけます。エレガントなデザインのウォッカバーでは、プレミアムウォッカや世界各国の厳選された高級ワインをお楽しみいただけます。お食事の体験をさらに充実させます。レストランはシャングリ・ラホテル・ウランバートル内にあります。



ALTAI MONGOLIAN GRILLレストラン

ALTAI MONGOLIAN GRILLは2006年に初めてオープンし、その後多国籍レストランチェーンに成長し、世界中に6か所の店舗を構えています。そのうち3か所はウランバートルにあり、残りの3か所は中国、ロシア、米国にあります。このレストランでは、お客様が好みに応じて食事をカスタマイズできる革新的なダイニング体験を提供しています。



MONGOLIAN'Sパブレストラン

このレストランは広々としたダイニングホールを誇り、キャビネット、ケースや壁にモンゴルの工芸品が展示されており、屋内にアンティークのゲル家具も置かれています。レストランではさまざまな伝統的なモンゴル料理を提供しており、一部のゲストからは、料理の量が異常に多いという感想も寄せられています。



MEXIKHAN

MEXIKHANはモンゴル初で唯一の本格的なメキシコ料理レストランです。メキシコ人とモンゴル人からなるシェフチームがすべての料理を作り上げ、大胆で激辛な味を提供しています。レストランでは、モンゴル北部のブルガン県産の最も柔らかく風味豊かな肉など、地元産の食材を使用しています。



LE BISTROT FRANCAISレストラン

ウランバートルで本格的なフランス料理を見つけるのは稀ですが、LE BISTROT FRANCAISは市内で最も高級なフランス料理レストランとして際立っています。パテ、キッシュ、ガーリックバター添えのエスカルゴなど、厳選された絶品の前菜をお楽しみいただけます。このレストランのおすすめはポークチョップです。国会議事堂の北に位置し、エレガントなフランス風の装飾が自慢です。ぜひ試していただきたい名物料理は、350Gのフィレステーキです。



SILK ROADバー&グリルレストラン

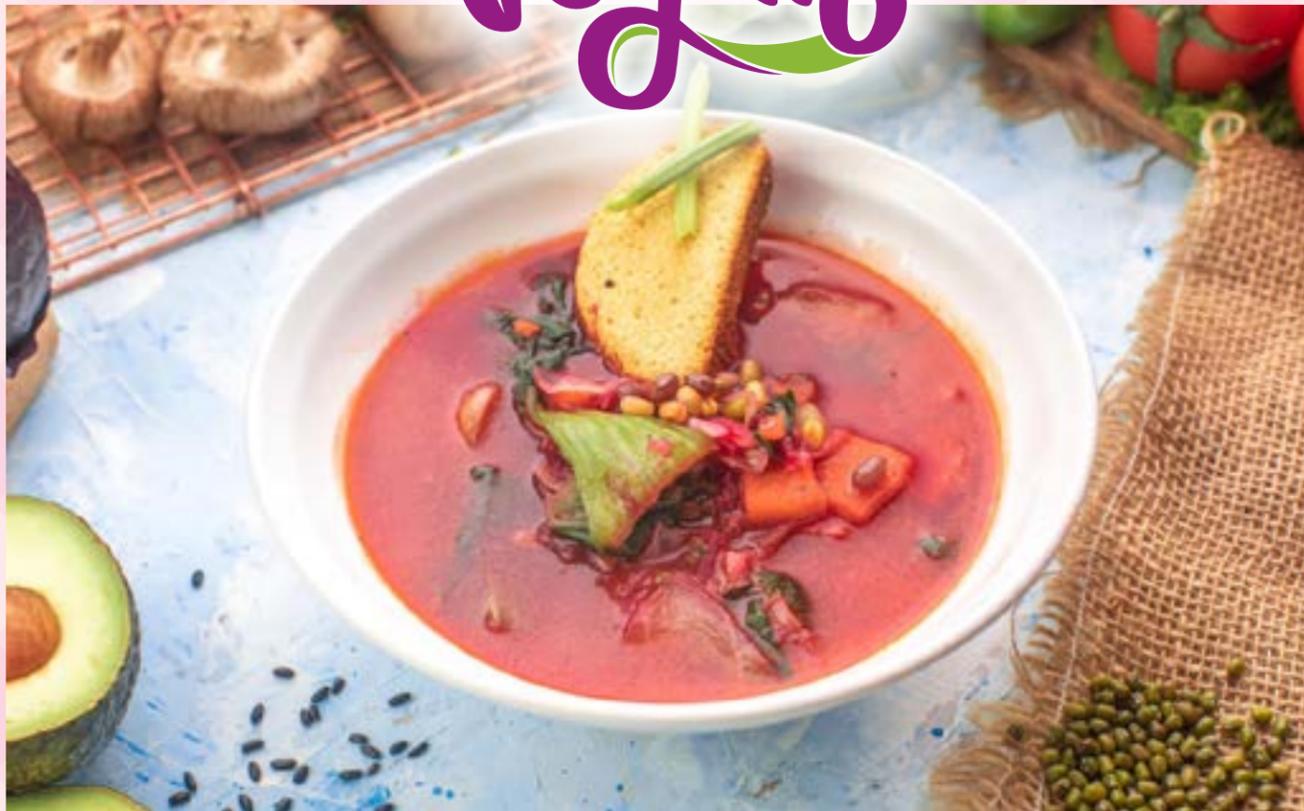
SILK ROADレストランはやや隠れた場所にありますが、中心部に位置しているため、便利で活気にあふれています。チョイジンラマ寺院博物館の近くに位置し、ボグド山の美しい景色を望めます。この豪華で清潔なレストランは、街の中心部で快適な食事体験を提供します。国際旅行雑誌ロンドンリープネットのランキングによると、ここはウランバートルで訪れるべき最高の場所の1つです。

HOTEL



Agnista
VEGAN FOOD

Vegan



Ulaanbaatarホテル

1959年に建てられたこの歴史的なランドマークホテルは市内中心部の賑やかな交差点に囲まれています。1990年代以前は、ほとんどの観光客がここがBayangolホテルに宿泊していました。これらは当時の最高級の宿泊施設だったからです。新しくできたホテルの中では、Ulaanbaatarホテルはモンゴルのホスピタリティ業界の旗艦店であり続けています。



Best Western Tuushinホテル

5つ星のBest Western Tuushinホテルはウランバートルの中心部に位置し、スフバートル広場からわずか100mです。2016年にモンゴルのベストホテルに選ばれ、198室の高品質な客室を提供しています。25階にあるレストランからは、市街地とその周辺の素晴らしいパノラマビューをお楽しみいただけます。



Blue Skyホテル

ウランバートルの南部に位置するこの25階建てのホテルは、市内で最も象徴的なランドマークの1つとなっています。5つ星のホテルには、200室の広々としたエレガントなデザインの客室とエグゼクティブクラブ ラウンジがあり、現代の国際的な旅行者の洗練された好みに対応しています。スフバートル広場はホテルからわずか数歩の距離にあります。南向きの部屋を予約すると、ボグドハーン山の息を呑むような景色を楽しめます。



Novotelホテル

ウランバートルのスフバートル広場からわずか600mに位置するNovotelウランバートルはエアコン完備の客室とスタイリッシュなバーを提供しています。ホテルにはレストラン、庭園、屋内スイミングプール、フィットネスセンターがあります。24時間対応のフロントデスク、ルームサービス、外貨両替を利用できます。館内全域で快適なシーティングエリアを提供しています。Novotelウランバートルの各客室にはデスク、薄型テレビ、専用バスルームが備わります。コンチネンタルブレイクファーストも楽しめます。また、ホテルにはビリヤードエリアもあります。近くの観光スポットには、モンゴル国立歴史博物館、チンギスハーン博物館、ウランバートルオペラハウスなどがあります。スフバートル広場は、歴史、風景、観光に興味のある旅行者に最適です。





Bayangolホテル

ウランバートルのもう一つの旗艦ホテルであり、象徴的なランドマークでもあるこのホテルは、2つのタワーで構成されており、定評のあるサービスと優れたロケーションを誇ります。市内のほぼすべての主要なランドマークが徒歩5分以内の距離にあり、徒歩圏内に数多くのレストランがあります。



Chinggis Khaanホテル

東京通りと北京通りに位置するChinggis Khaanホテルは静かな住宅街に位置する4つ星ホテルで、市内の主要政府機関、ビジネスセンター、文化センターから徒歩わずか15分です。ホテルには屋内プール、マッサージとサウナサービス、トレンドイナイトクラブ、カラオケルーム、さまざまな飲食店があります。



The Corporateホテル

The Corporateホテルは、中心部に位置するホテルチェーンです。ビジネス旅行者向けに設計されており、快適な滞在のためにアパートメントスタイルの客室を提供しています。ウランバートルにビジネスで訪れる方に最適です。



Kempinski Hotel Khan Palace

Kempinski Internationalが経営するこの定評あるホテルは、ウランバートルの賑やかな首都圏の近くに位置しています。99室の豪華な客室とスイートを備え、ユニークでモダンな宿泊体験を提供します。ホテルにはさまざまな飲食店があり、中規模の会議を開催するのに最適な場所です。



Ramada Hotel ウランバートル

ボグド・ハーン山と活気ある街並みの素晴らしい景色を望めます。市内中心部のすぐ外に位置し、ウランバートルの美しい景色や主要な観光スポットに簡単にアクセスできます。ホテルには、スイート20室とエグゼクティブルームを含む125室の客室があります。ガンダンテクチンレン修道院も徒歩圏内です。



Shangri La Ulaanbaatarホテル

Shangri La ホテル ウランバートルは市の中心部に位置し、モンゴルの真の5つ星ホテルの1つです。モダンと地元のフュージョンデザインが融合した、広さ42平方メートルのエlegantで広々とした客室が290室あります。

シティツアー



1. スフバートル広場

私たちの市内観光は、首都の中心部、スフバートル広場から始まります。広場の周りには、数多くの歴史的建造物や彫像が立ち並んでいます。



2. チンギスハーン博物館

チンギスハーン博物館・文化センターは、2022年にオープンしたばかりです。15の展示ホールがあり、博物館には250席のホールがあり、一般向けにバーチャルツアーやその他多くのイベントを提供しています。



3. モンゴル国立博物館

広場の西側にはモンゴル国立博物館があり、モンゴル民族の歴史について詳しく知りたい観光客には必見の場所です。

UBツアー



4. ゴビカシミア/ギャラリア/スーベニアショップ

スファートル広場の隣にある最大級のお土産店、ギャラリア スーベニアショップには、友人や家族への贈り物に最適な品ぞろえが豊富に揃っています。広場の東側には、モンゴルで最も評判の高いカシミアショップGOBIがあります。最高品質のカシミア製品を取り扱っています。寝袋もぜひお勧めです。

1日目 Ulaanbaatar



5. チョイジンラマ寺院

近代的なダウンタウンの真ん中にチョイジンラマ寺院と呼ばれる寺院があり、観光客が見学できる博物館があるため、人気の観光スポットとなっています。



シティツアー



1. ガندان寺院

モンゴル仏教の中心地を体験するのに最適な時間は朝です。なぜなら、寺院では一般客のために毎朝お経を唱えているからです。

2日目



2. ザイサン記念碑

ザイサンの丘の頂上にある歴史的に重要な記念碑まで行くには、たくさんの階段を上る必要があります。頂上からは首都の壮大なパノラマビューが楽しめます。記念碑の下には、第二次世界大戦で使用された戦車があります。戦車の少し南には、リラックスして写真を撮ることができる公園に仏像があります。



UBツアー



3. ボグド・ハーンの冬の宮殿

ザイサンの丘より2キロ北に、かつてモンゴルの宗教指導者であったボグド・ハーンの冬の宮殿があります。この宮殿は、もともとボグド・ハーンの住居だった4つの建物のうち唯一残っているもので、その横には最も古い博物館があります。また、モンゴル最大のコレクションの1つとも考えられています。

4. トゥメン・エフ・アンサンブル

モンゴルの伝統文化遺産に興味があるなら、トゥメン・エフ・アンサンブルを訪れることをお勧めします。彼らはライブコンサートを開催し、私たちの幅広い文化を紹介しています。



Ulaanbaatar

シティツアー

3日目



1. 13世紀コンプレックス

彫像コンプレックスから車で1時間ほどのところに、モンゴルの13世紀の風景を再現した場所があります。ここでは、まるで13世紀にいるかのように、乗馬、弓術の練習、伝統料理の食事、ゲルでの宿泊を楽しめます。貴族の伝統的な衣装を着て写真を撮ることもできます。



2. チンギス・ハーン像群

テレルジ国立公園から40キロ離れたところにチンギス・ハーン像群があります。これは馬に乗ったチンギス・ハーンを象った高さ40メートルのステンレス製の像で、世界で最も高い騎馬像です。



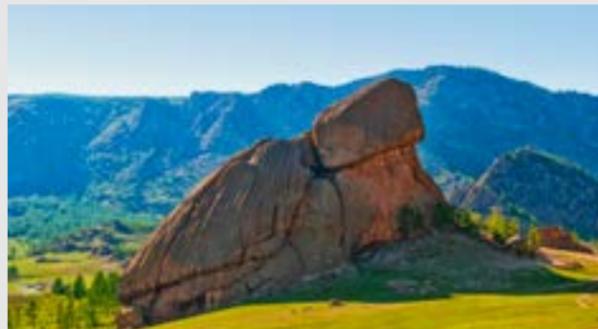
UBツアー

Ulaanbaatar



3. 亀石

テレルジ国立公園を縦断する幹線道路に沿って進むと、左側に亀とほぼ同じ形をした岩が見え、後ろから首まで登ることができます。



4. 千人の僧侶の洞窟

大粛清時代に僧侶たちがソ連軍から身を隠すためのシェルターとして使われた岩層に出会います。20世紀半ば、千人の僧侶がこの洞窟に隠れて生き延びました。洞窟の隣には乗馬スポットがあり、馬やラクダに乗るのが楽しみです。



世界の高級ブランド

ウランバートルの中心部からショッピングを始めれば、世界の高級ブランドから選ぶことができる。

グランジ、ロック、ファンシーなファッションの若者たちをウランバートルの街のあちこちで見かける。なぜなら、彼らは世界のファッションの流行をいち早く追いかけて、自分の好みのブランドを持っているからだ。たとえば、Michel & Amazonka、SMOK、Musette & Monalun、Aruina Suri、Divine、Multiverse、We are moods、Donna Bayarなどのモンゴル発ブランドだ。それらはモンゴルで買えば比較的安く、選択肢は多いので、あなたはためらう必要はない。



世界のブランド「モンゴルカシミア」

モンゴルカシミアがすでに世界のブランドとしての地位を確立したことに異を唱える人はいないだろう。なぜなら、モンゴルヤギのカシミアは繊維が非常に細く高級で、そこから作ったニット製品は羽毛のように軽く、柔らかで温かい。夏涼しく冬暖かいカシミアの品質の秘密を、自分の手で確かめてみたければ、カシミアの靴下、手袋、帽子、マフラー、セーター、コートなどから選べる。旅行用のブランケットもある。

ナラントール市場の商売

ウランバートルは世界で一番寒い首都だと言われている。ここにはモンゴルの人口の約半分が暮らしている。人口密度が1平方キロメートルあたり1.5人のモンゴルで、最も人口密度が高い場所がナラントール市場である。ここではいろいろな人の暮らしを観察することができ、最も多くの種類の商品とその場で値段を交渉して買うことができる。



ウランバートルの土産物

ウランバートルとモンゴル旅行についての思い出をいつまでも残したいなら、ウランバートルだけで手に入る手作りのお土産を紹介する。



シャガイ(羊の踝骨のおもちゃ)

口をひもで縛ったフェルトの巾着袋の中には、4個のシャガイと折りたたまれた説明書が入っている。これはモンゴル人たちの伝統的なおもちゃのシャガイである。シャガイの4つの面にはそれぞれ羊、ヤギ、ラクダ、馬の名前がついていて、4個のシャガイを平らな場所でサイコロのように振ってどの面が何個出たかで占いをする。占いの結果は折りたたまれた説明書を広げて見ればわかる。



刺繍

芸術的に美しい模様をカラフルな糸で描いたいろいろな刺繍小物はいかがだろうか。器用な針子たちの手による製品のほか、現代人にも必要なフェルト製品も旅行者の興味を引き付けている。

知育玩具

モンゴル人は昔から引っ越しが簡単のように、ゲルや柵を分解できるように作ってきた。「だから世界のどの国のパズルの仕組みもモンゴルにはかなわない」と1万点以上の展示品がある国際知育玩具博物館のトゥメン・ウルジー館長は言う。このため、木で作った小さなパズルはモンゴルゲルのミニチュアだと言うことができる。



音楽CD

モンゴルの民族音楽を知ろうと思えば以下の音楽CDをお薦めする。作曲家N.ジャンツァンノロブの“Let the Mount Burkhan Khaldun Bless You”、G.オノンのアルバム“世界”、シンツォグの馬頭琴演奏が入った“Harmony of my heart”やアルタン・オラグのアルバム“Blood”は、遊牧民の音楽が感じられる。CDは“Hi Fi Records”に行けば買うことができる。

オーガニック食品

ウランバートルにはオーガニック製品が多くある。その中でも最も一般的なのがチャツアルガンのジュース、チャガ茸のティーパック、アザミのジュースで、他にも多くの選択肢がある。例えば、オーガニック製品から作った100%天然素材の化粧品は外国人旅行者がよく買っている。旅行者がお土産としてよく買うもう一つの製品はモンゴル・アルヒである。家畜の乳からアルコール分を蒸留して作った伝統的なシミーン・アルヒと、麦から作った高級アルヒ(ウオッカ)の選択肢も多い。



モンゴル画

ウランバートル市内のどこかで、両手いっぱい自分が描いた絵を抱えた若い画家に絵を勧められる場合がある。遊牧民の日々の暮らしを描いた水彩画および油絵のモンゴル画、絵葉書サイズの絵や切り絵を親しい人へのお土産にいかがだろうか。



Thank you for choosing
Sustainable Mongolian Cashmere

Nomadic heritage
Luxury
Timeless
Beauty



KHANBOGD CASHMERE LLC

- 📍 MINISTER TOWER Olympic Street 5, Khoroo-1, Sukhbaatar District 976, Ulaanbaatar, Mongolia
- ☎ (976) - 7272-0666, (976) - 11 454-236
- ✉ marketing@khanbogdcashmere.com, cashmere@khanbogd.mn
- 🌐 www.khanbogdcashmere.com | www.khanbogd.mn



デパート・商業センター



国立デパート

社会主義時代に建設され、国立デパートとして営業していた歴史的な建物です。現在もデパートとして営業しており、食料、化粧品、また国産の羊毛・カシミア製品、子供用品、日用品及び電気製品、娯楽施設、文房具、本、お土産などのフロア以外に銀行サービスなどを受けられます。世界で名が知られる衣類、陶器、スポーツ用品などのメーカーによる20,000点の商品販売を提供しています。

<https://uid.mn/>



Khunnu Mall商業センター

この施設の商業センターとしての規模はモンゴル有数であり、面積50,000平米、容量12,000人となっています。Khunnu Mallでは1年通して営業するスケート場、1000席容量のマルチファンクショナル映画館、子供が楽しめるプレイグラウンド、創作が楽しめるHome DIY店、Mall内に新鮮な空気を漂わせるKhunnu植物園、世界の国々の料理店、様々なブランドの店舗や多種多様なサービスを一カ所で受けられます。

<https://hunnumall.mn/>



Shangri-La商業センター

都市の中心部に営業しているモンゴル最大の商業・サービスセンターです。広々とした清潔な空間、快適なショッピングを過ごせる環境を提供しています。IMAX映画館での快適な時間及び世界の国々の料理店で美味しい食事を楽しめます。27,000平米の面積に高級ブランドから人気ブランドまで幅広い選択を楽しみ、お買い物の快適な環境を提供しています。

<http://shangrilacentreub.mn/shangri-la-mall/>



Narantuul市場

10,000店のテナントが集中しており、毎日100,000人の来客で賑わうモンゴル初の市場です。Narantuul市場には現地の人以外に地方からの来客や観光客が足を運ぶことが多いです。Narantuul市場には日用品を始めとして「何でもある」という市場ならではの評判がついています。モンゴルの最大の露天の市場として有名です。



MAX MALL商業センター

この商業センターは2011年に開店してから世界水準に至ったサービスを提供し、お客さんの要望に応えるために快適な環境と品揃えを整えています。ウランバートルの市街風景に貢献しているMAX MALLは商業センターを営業する以外にEuromebel、Coccinelle、Geoxなどのブランドをモンゴルで代表しています。

<https://maxgroup.mn/max-exim-llc-2/>



ウランバートル・デパート

このデパートは日用品、男女の衣類、スポーツ用品、羊毛・カシミア製品、お土産、靴、文房具、本、宝石、香水、化粧品などを扱っている170店舗が入っています。

<http://ubds.mn/>



Emart ハイパーマーケット

1993年に設立された、韓国でナンバーワンを誇っているスーパーマーケット・ネットワークが2006年にWall Martと合併し、2015年時点では韓国には159店舗、中国に16店舗を展開しています。現在、ウランバートルではEmartの3店舗が営業しており、ユーザーに喜んでいただける生活用品や食料品の販売に力を入れています。店舗には駐車場を整備しており、広々とした面積において80,000点の商品を提供しています。

<https://e-mart.mn/>



Galleria Ulaanbaatar商業サービスセンター

世界水準に適合したブランド店、快適なレストランなどが揃った商業・サービスセンターです。車90台分の駐車場が備わっています。この建物は1929年に建てられ、当時から印刷工場として使われてきた歴史文化建造物を現代建築のソリューションを取り入れて改修し、2018年にGalleria Ulaanbaatar商業サービスセンターとして開店しました。

<http://galleriaub.mn/>

*Thank you for choosing
 Sustainable Mongolian Cashmere*

Nomadic heritage
 Luxury
 Timeless
 Beauty



KHANBOGD CASHMERE LLC

-  MINISTER TOWER Olympic Street 5, Khoroo-1, Sukhbaatar District 976, Ulaanbaatar, Mongolia
-  (976) - 7272-0666, (976) - 11 454-236
-  marketing@khanbogdcashmere.com, cashmere@khanbogd.mn
-  www.khanbogdcashmere.com | www.khanbogd.mn



Ulaanbaatar
夜のウランバートル



EON CLUB

EONクラブは開店してそれほど経っていませんが若者の時間を過ごす人気の場所となっています。中には3つのホールがあり、どの世代の人でも楽しめる環境と雰囲気を提供しています。また、照明やLEDスクリーンなどは人気スポットならではのレベルです。ここではヒップホップ、ハウス、テクノ、エレクトロニック・ミュージックなどのリズムを感じることができます。EONクラブはウランバートル市内の一番大きな娯楽施設の中にあり、様々なサービスを身近に提供してもらえます。モンゴルの名DJたちによる音楽はあなたを待っています。



ZU CLUB

ZUクラブはウランバートルの繁華街である「明かりの街」の中心にあります。DJたちは腕の見せ所で争い、大都市の熱いナイトクラブとして有名です。ZUクラブのダンスフロアは最新のVOID Acousticsサウンドシステム、Madrix Light、MadrixMaxx、Magicfx CO2などで整備されており、クラブ通いの誰もが評価する相応しい環境が待っています。大きな二つのホールでは名DJのTMKがテクノ、エレクトロニック・ミュージック、メイン・ステージではEDM及びヒップホップを楽しめます。ZUクラブの絶えないエネルギーがあなたを待っています。



MINT ULAANBAATAR CLUB

MINT Ulaanbaatarクラブはモンゴル有数のトップ・ナイト・クラブです。当クラブの中にはClub, Lounge, WVIP Art and Gardenといった個別のスペースを楽しむサブクラブが用意されています。毎晩、その夕方に特有の雰囲気、環境、音楽、サービスを提供しており、優れたVOID Acousticsサウンド・システムでアドベンチャーに富んだ忘れられない夜を過ごせます。ここではヒップホップ、ハウス、テクノ、エレクトロニック・ミュージックなどのリズムを感じることができます。



CHOCO METROPOLIS CLUB

Choco metropolis clubは芸能の動向や発展の中心となる「明かりの街」に聳えるビルの最上階に生まれました。眼、耳、心で感じられる力強い設備で3つの異なるデジタル空間を楽しむことができます。クラブの未来を一緒に作りましょう！ようこそ！

ライブ音楽



FAT CAT JAZZ CLUB

世界のどの都市も贅沢な音色を漂わせるジャズ・クラブがあります。我が都市の中心に「FAT CAT」（太った猫たち）がジャズを奏でており、それを人間たちが聴いて楽しめます。恋に酔っている若者や誰かに悲しむ、心を癒すために来た人、若い頃の思い出を蘇らせる年配の人など、皆がジャズのメロディーを聴いて心が躍り、又はドキドキし、心が癒されます。



RIVER SOUNDライブ・ディスコ・ハウス

「River sound」といえば大都市のナイトライフに欠かせない娯楽のブランド名となりました。都市の中心となる広場から数分かけて歩いて行けるこのクラブは観光客やモンゴルの若者で賑わっており、芸人、政治家も顔を出すことがしばしばあります。20年近く営業しているこのクラブのステージでパフォーマンスしていないモンゴルのロック・ポップのバンド、歌手、またモンゴルを訪問した外国のスターはいないでしょう。世界のロック・ポップ、ジャズの名バンドや歌手、その音楽のリズムで心と体をチャージしに来てください。



NICITON CLUB

Nicitonバンドはこのクラブで毎週末にフルコンサートを開催しており、平日では「The Cover Band」によるライブ、毎週土曜日にはモンゴルのポップ・ロックのスターたちがコンサートを行っています。ウランバートル市ではライブと言えばNICITONクラブであり、ライブ音楽愛好家の集う場所となっています。



HARD ROCKカフェ

世界中に120余りの支店をもつHard Rockカフェはウランバートルにもあります。Hard Rockの忠実なファンは観光先の国で必ず訪れるという、ここではモンゴルの現代の音楽なども味わえる機会です。観光客もモンゴルの若者も集う場所となっており、モンゴルの有名なバンドが定期的に演奏しています。また、Hard Rockアクセサリーを販売する売店ではお気に入りの一品を手に入れることができます。



ウランバートルの冬まつり

12月/

モンゴルの美しい冬、伝統習慣と文化、現代のエクストリームスポーツに興味を持っている誰をも歓迎するこの祭りは毎年2月に行われている。この祭りでは以下のイベントや催しが行われる。



ウランバートル冬祭り

12月/

冬の観光を促進するためにモンゴルハイキング協会と共同で開催されるこの祭りは、世界中のハイカーを魅了し、モンゴルの冬の美しさを体験する素晴らしい機会を提供します。



鷹祭り

13月/

カザフ民族の伝統と文化、その象徴的な鷹狩りを毎年3月に開かれるこの祭りを通じて味わえる。この祭りでは以下のイベントや催しが行われている。

4

ウランバートルマラソン

15月/
毎年6月の第1土曜日に開催されるウランバートルマラソンには、各国の選手が参加し、国際フルマラソンと、市民マラソンの2種類がある。



5

「UBバイクツアー」国際自転車フェスティバル

16月/
「UBバイクツアー」国際自転車フェスティバルは健康的なライフスタイルを好む自転車レースの愛好家が集うイベントである。



6

テングル・ワールド・シャーマン・フェスティバル

15月/
テングル・ワールド・シャーマン・フェスティバルはモンゴル国民の伝統・文化の重要な遺産であるシャーマニズムの大規模な祭りであり、世界の多くの国々のシャーマンたちが参加する。



7

「草原の風」国際モーターフェスティバル

16月/
アジアの国々から参加者が集うこの大規模のモーターフェスティバルは毎年6月に開催されており、モータースポーツに興味を持つ一人ひとりの待ち望むフェスティバルである。特に「ティーロード」国際観光連盟の加盟国であるロシア、中国、日本、インドはお馴染みの参加者である。



8

「プレイタイム音楽祭 PLAYTIME

17月/
PlayTime音楽祭はウランバートル市の中心から30キロ離れている「モンゴル宮殿」観光施設で開催されています。年々国外から参加するバンドやアーティストが増えており、イベントの規模が拡充しています。



9

「デールフェスティバル」

17月/
モンゴル民族の伝統文化、様々な民族のデール（民族衣装）、アクセサリ、民芸の有形及び無形遺産の普及・宣伝の目的で毎年7月に開催されている。

民族の祭典ナーダム

17月/

モンゴルのナーダムを見ずしてモンゴルについて完全に理解することはできないだろう。「相撲・弓射・競馬 - 男の三種目の参加者がナーダムの一部になっていくのが非常に感動的でした。3～8歳の子供が馬に乗って約30キロの距離を競い、調教師がゴールでハラハラしながら待っているのを見て、これまでに見た競馬とは全く違う感覚を覚えました。



ダンシング・ナーダム

18月/

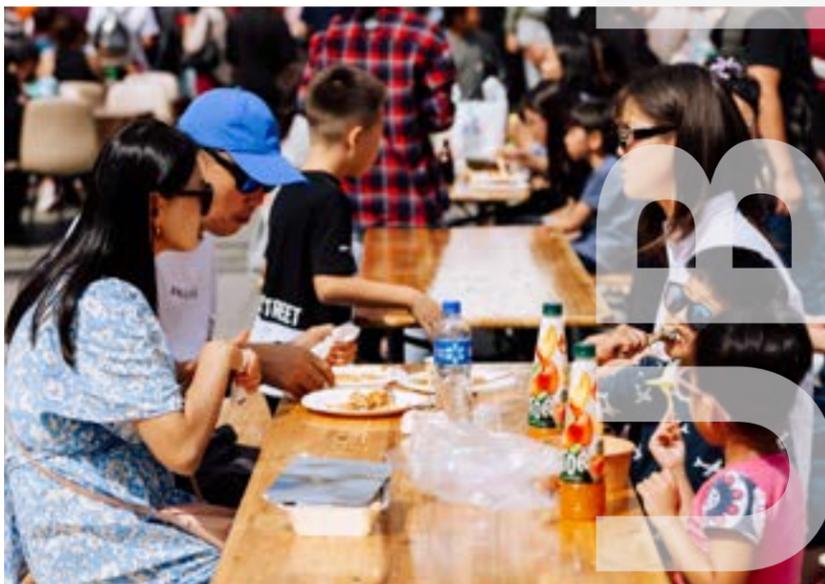
「ダンシング・ナーダム-フレア・ツァム」宗教・文化祭は毎年8月上旬の週末に開催されるイベントです。この宗教・文化祭では仏教の伝統習慣や文化を盛大に再現すると共にナーダム祭の3競技が行われる大きなイベントです。



UBフードフェスティバル

18月/

2013年から毎年8月に開催される「UBフードフェスティバル」はモンゴル料理及び健康で美味しい食生活について知ってもらう目的で行われてきた。フェスティバルではモンゴルで造られた食品を販売し、モンゴル料理店の有名なシェフたちが作った様々な料理を試食できる。イベントの目玉として、ベストストリートフードを作るお店、ベストシェフを競い合い、来訪者の間に様々な料理コンテスト、楽しいゲームを行う。並びに、音楽や芸術のショーや料理の実演などを楽しめる。



「ウランバートルジョギングフェスティバル」

18月/

ウランバートルジョギングフェスティバルは9月に開催されており、韓国とモンゴルのジョギング愛好家たちが美しい自然の中を歩く。ゴルヒテルルジ自然保護区域に位置するチンギス山周辺(11キロ)を通り、トーラ川が最も綺麗に見える大理石の岩の山を楽しめる。

ジョギングフェスティバルに参加する皆さんは現地の住民が作った民芸品、乳製品などの買い物を楽しみ、また乗馬を体験できる。



「ヒーモリ」国際騎射フェスティバル

18月/

騎馬民族の習慣、伝統、独自の文化を宣伝し、若い世代への継承を目的として毎年9月に開催されている。このフェスティバルにはマレーシア、カナダ、ハンガリー、南アフリカなどの18カ国の40人余りの参加者が今までに参加してきた。



ウランバートル国際写真フェスティバル

19月/

このフェスティバルは、世界中のプロやアマチュアの作家のレンズを通してモンゴルのライフスタイル、文化、伝統、息を呑むような自然の風景を捉え、国際的に宣伝することを目的として初めて開催されます。



現代のモンゴルは何千年も前の遊牧民の文化を受け継いでいることで知られている。しかし、遊牧民の生活様式を見るために、何百kmも行く必要はない。

活リズムを見ることができる。大空の下、野外ステージでクラシック・コンサートやモンゴルオペラが上演され、モンゴル民族の舞踊の祭典が開催され、「デールを着たモンゴルナーダム」イベント中はデールを着飾った国内外の参加者が集まってパレードし、お揃いの白い服を着たモンゴルの若者たちはDJの最新の音楽に合わせて一晩中踊る。このようにナーダム期間中は現代と伝統のコントラストがあり、昔も今もそしてこれからも変わらず旅人に優しく、もてなし好きで、安全なウランバートルのリズムが伝わってくる。あなたはウランバートルにもっと長く滞在したいと思うことだろう。

現代のモンゴルは何千年も前の遊牧民の文化を受け継いでいることで知られている。しかし、遊牧民の生活様式を見るために、何百kmも行く必要はない。ウランバートルから少し郊外に出れば、伝統的な生活を続けている遊牧民が、あなたをモンゴル人らしいもてなしで迎えてくれる。美しい自然の中

を馬で駆け、遊牧民の家庭を訪問すれば、もてなし好きな家の主が伝統的な料理を振る舞ってくれ、家族の一員のようにゲルと一緒に泊まることは得がたい経験だ。翌朝早く起きてゲルの外に出れば、見渡す限りの草原で、遠くでのんびりと草を食む羊や馬の群れが見え、静かな自然はあなたを否応なく数百年前の世界にタイムスリップしたような気持ちにさせる。

訪問した遊牧民家庭の伝統的な生活様式は、旅行者に見せるためのものではなく一般のモンゴル人の生活そのものであり、誇りを持って受け継いできた伝統であることが感じられ、いつまでも心に残るだろう。

美しい自然
手つかずの美しい自然はモンゴルの代名詞である。ウランバートル周辺にある国立公園では、独自の自然の生態系で何万年も前から生息する希少な野生動物があなたを迎え、心

ナーダム開会式。国家の象徴である9本の白い旗の掲揚式



デール・フェスティバル



ナーダム祭のイベントの一つである「デール・フェスティバル」は毎年開催されています。このフェスティバルはモンゴル民族の伝統文化、様々な民族のデール（民族衣装）、アクセサリ、民芸の有形及び無形遺産の普及・宣伝、デールを通じて次世代に歴史・文化を継ぐ、首都ウランバートルを国際的に宣伝し、観光客の需要に合った観光商品、斬新なサービスの提供を目的として開催されていま

す。デール・フェスティバルはナーダム祭の「前夜祭」として市民や観光客が楽しむ重要なイベントとなっています。

世界的に認められて注目を集めた、独特なつくりと鮮やかな色合いを誇るモンゴルのデールを身にまとい「デール・フェスティバル」に参加するよう招待しております！



ウランバートル 周辺の見どころ

遊牧民の故郷の旅はウランバートルから始まる。ウランバートルは375年前にモンゴル中部にあるシレー湖のほとりに基礎が築かれ、現在まで300kmの距離を29回にわたって移動しながら拡大を続け、今のウランバートルになった。ウランバートルは、何千年もの歴史を持つ都市文明と比べると多くの違い

があり驚かされる。しかし、遊牧民の生活の知恵、伝統・文化を知り、あなたがこの地を離れる頃には、その理由に納得していることだろう。これがもてなし好きな遊牧民の街、友好都市ウランバートルである。



1 ゴルビ・テレルジ国立公園

手つかずで特徴的な自然、数多くの旅行プログラムが楽しめる広大な土地は、ウランバートルを訪れる

観光客を魅了する。ゴルビ・テレルジ国立公園は、乗馬、カヤック、釣り、自然観察トレッキングを楽しむことができる。さらに、ゴルフ場や快適な5つ星ホテルでリフレッシュしたり、テレルジ川の上空を小型飛行機で遊覧飛行することもできる。



2 13世紀村

まるで13世紀のモンゴルにタイムトリップしたようなこのテーマパークは、6つのゾーンからなる。物見やぐらと駅伝制ゾーン、工芸品ゾーン、図書館、遊牧民ゾーン、シャーマニズムゾーン、皇帝の宮殿などのゾーンをめぐって昔のモンゴル人がどのように生活し、工芸品を作り、文化を守つ

てきたかを知ることができるだけでなく、昔の皇帝やお后、兵士たちの服を試着することもできる。それらは忘れられない旅の思い出になるだろう。あなたも一緒に時間旅行に出かけよう！



4 ザイサン

世界の各都市にはその街が良く見渡せ、多くの人々が訪れる高い場所がある。ザイサンはそのような場所だ。ウランバートル市民や旅行者はザイサンの丘に登り、太陽の光により刻一刻と色を変える空を見たり、活気にあふれる街を見下ろすのが好き

3 チンギスハーン騎馬像

チンギスハーン騎馬像はウランバートル市街から54kmにあるツオンジンボルドグという歴史の舞台になったことがある場所にある。土台からの高さが40mあるチンギスハーン騎馬像の中には、ギャラリーや展示室、レストラン、土

産物店などがある。騎馬像の馬の尻尾の中にあるエレベーターで上階に昇り、チンギスハーンの胸のあたりを通って馬のたてがみの上に出れば、周辺の美しい自然と景色を見ることができる。



ウランバートル市の周辺には余暇を楽しめる多くの場所がある

だ。ウランバートル市街の南に位置するザイサンの丘の頂上には、ソ連軍の記念碑がある。ハルハ川戦争(ノモンハン事件)で勇敢に戦い命を捧げたソ連の兵士たちを記念するこのモニュメントは1971年から1979年にかけて作られた。ザイサンの丘の西の麓には高さ23mの大仏のある公園がある。来場者の心を清める聖域として、平和と安寧を象徴する鐘や天地の神々の加護を呼ぶ太鼓がある。



ホスタイ自然保護区に行けば1万年前から生息している希少なタヒが見られる

5 「チンギス・ハーンのフレー」
観光コンプレック

この観光施設は1992年に設立され、古代遊牧民の歴史を基に当時の風景を忠実に再現しています。モンゴルの伝統習慣、遊牧民特有の生活文化が漂う環境を整えているためその雰囲気を楽しめます。

6 ホスタイ自然保護区

モンゴルをタヒの故郷として有名にしたホスタイ自然保護区は、多くの種類の植物、鳥類、哺乳類が生息している自然の博物館だ。ここでは乗馬ツアー、トレッキング、自転車ツアー、バスツアーなどを行なうことができる。また、ホスタイには歴史的に興味深い遺跡もある。旅行者はここを観光コースに加えることで好きな乗り物で忘れられない旅行の思い出を作ることができる。ここではアカシカ、モンゴルサイガ、ノロジカ、イノシシ、アルガリ(野生の羊)、ヤングル(野生のヤギ)、タルバガ、ハイイロオオカミ、オオヤマネコ、マヌルネコ、キタキツネ、コサックギツネ、アナグマなどの動物、ハゲワシ、イヌワシ、ヒゲワシ、ノガン、オオハクチョウ、ナベコウ、ウズラ、コキンメフクロウなどの鳥

類を観察できる。また、乗馬ツアー、トレッキングツアー、自転車ツアー、バスツアーを楽しむこともできる。さらに、ホスタイ自然保護区には歴史遺産もあるので、あなたはここを旅行コースに加えることができ、好きな乗り物で忘れられない1日を過ごすことができる。

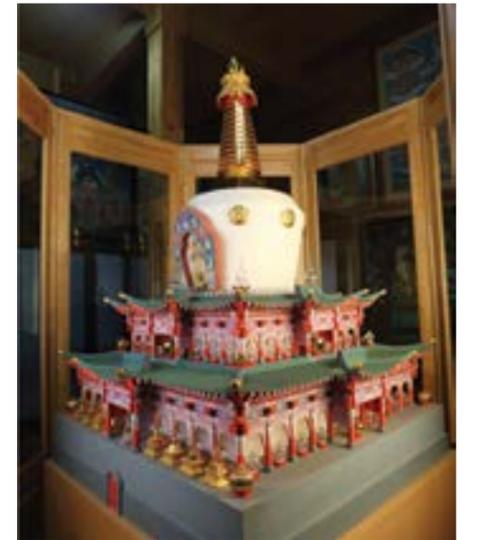
7 マンジュシュリー寺院

マンジュシュリーとは文殊菩薩のことである。1733年に文殊菩薩の化身とされるロブサンジャンバルダンザン師によりボグドハーン山の麓に建立されたのがマンジュシュリー寺院の始まりである。これらの寺院はボグドハーン山の美しい自然に合わせて作られたため、「ハルハ・モンゴルの奥の院」と呼ばれて有名になった。20世紀初頭には500人以上の僧侶が修行するモンゴルでも大きな寺院となった。寺院の一部は今も博物館として保存されている。この博物館の東側には1726年にジャルボーが兄弟で作った鉄鍋がある。一度に1,000人分の食事を作ることができるこの鉄鍋は、直径215cm、深さ140cm、容量1,800リットル、重さ2トンある。1,000人の食事を作るのに羊10頭の肉と荷車4台分の燃料が必要だった。



アグラグ・ブテール寺院

アグラグ・ブテール寺院はトゥブ県ボルノールソムにあるダリーンアムという自然豊かな場所の岩山に建てられている。アグラグ・ブテール寺院の創設者はモンゴルの名高い仏教文化先駆者のプレバト僧侶である。アグラグ・ブテール寺院は多くのモンゴル人仏教徒の願望に応じて、モンゴル独特な建築様式で2011年に建てられた。寺院は中門や本堂、塔など12の伽藍から構成されている。22メートル高さの塔には釈迦をはじめ、菩薩たちの77の仏舎利塔が祭られていほか、大モンゴル帝国時代の616個の仏舎利も寺院に祭られている。寺院の敷地内には釈迦が白象になって母の胎内に入る場面、また母マヤーから生まれ出て7歩み7つの蓮の花が咲いた場面、出家、悟り、教化などの12場面が巨大な岩に刻まれている。これらの彫刻は最大のもので10メートルあり、計67の彫刻が寺院の敷地内と山道に沿って点在している。この山道は美しい自然の中1.5kmほど寺院を一周している。



釈迦、菩薩たちの77の仏舎利塔が祭られている22メートルの塔



10メートルの釈迦の彫刻のほかに67の彫刻が岩に刻まれている寺院を一周する美しい自然の中の山道角4本の羊を育てており、今は100頭を超えている



プレバト僧侶の作品を創作している姿

テレルジ国立公園

平和な王女の寺院 - グンジン・スム



松林に囲まれたこの地は、自然の美しさが際立っています。1699年、満州族の王女がモンゴルに渡り、モンゴル貴族ドンドブドルジの王妃となりました。彼女は1740年に亡くなる前に遺言を残しました。遺言には、「私はモンゴル人と結婚し、生涯を共にしたため、モンゴル人となりました。そのた

め、モンゴルの土に埋葬させてください」と書かれていました。それ以来、スンチン族の王女の召使たちが、彼女の墓の周囲を守ってきました。1930年まで、彼女の聖なる埋葬地は破壊されていませんでしたが、1948年に発掘が始まったときには、すでに盗掘の被害を受けていました。墓の遺跡は、石碑、墓を守る施設、ボグド門、要塞、聖なる埋葬地、墓の6つの主要な部分で構成されています。王女の墓は聖なる埋葬地にあります。墓を守る施設は、より大きな要塞の中に独自の要塞を持っています。要塞の高さは2.5メートル、幅は長さと同じ70メートルで、面積は4,900平方メートルです。壁の厚さは、4つのレンガを並べた厚さです。要塞内部のセクションの前には、高さ10メートル、幅6メートルのボグド門があり、数本の柱で構成されています。聖なる埋葬はこの門の近くに行われました。

亀石

モンゴル語で「メルヒイハド」と呼ばれるこの岩は、高さ24メートル(79フィート)の花崗岩で、亀を思わせる形をしています。古い名前は「ムングットハド」でした。

アリヤバル瞑想寺院



アリヤバル瞑想寺院は、亀石から3km離れたテレルジ国立公園にあります。1810年に建てられた仏教の瞑想寺院ですが、1938年の宗教粛清で破壊されましたが、2004年から2007年の初めに修復されました。寺院からは国立公園の美しい景色を眺めることができます。

ゴルヒテレルジは、モンゴルにある30の国立公園の1つです。花崗岩の山々、伝説の亀石、針葉樹林、トール川とテレルジ川の豊かな盆地からなる息を呑むような景色がよく知られています。市街地から東にわずか60km、車で約1時間の距離にあります。この公園は、モンゴルを訪れる時間が短い場合に特に訪れるのに適した場所です。文化遺産や遊牧民の遺産から、豊かな動植物まで、モンゴルの豊かな文化遺産と自然遺産を示すものがほとんどすべて揃っています。最も高い山の1つに吊り下げられたアリヤバルの寺院を訪れることができます。緑豊かな草原は、ハイキングに最適です。植物学に興味がある場合は、夏に公園を訪れて、美しい野生の花をお楽しみください。テレルジ川とトール川の合流地点では、素晴らしいバードウォッチングを楽しめます。冬でも、探検家を驚かせます。宿泊施設は、5つ星の高級ホテルから観光用ゲルキャンプまで、多種多様です。地元の遊牧民が提供する「ゲストゲル」もいくつかあります。このタイプの宿泊施設は人気が高まっており、低予算の旅行者に最適です。最高の乗馬コースもいくつかあります。一言で言えば、市街地から簡単にアクセスできる、見逃せない素晴らしい国立公園です。

ある場合は、夏に公園を訪れて、美しい野生の花をお楽しみください。テレルジ川とトール川の合流地点では、素晴らしいバードウォッチングを楽しめます。冬でも、探検家を驚かせます。宿泊施設は、5つ星の高級ホテルから観光用ゲルキャンプまで、多種多様です。地元の遊牧民が提供する「ゲストゲル」もいくつかあります。このタイプの宿泊施設は人気が高まっており、低予算の旅行者に最適です。最高の乗馬コースもいくつかあります。一言で言えば、市街地から簡単にアクセスできる、見逃せない素晴らしい国立公園です。



モンゴル：数回クリックするだけで

この街は、人々を結びつけるコミュニティです。世界の他の場所と同じように、公園、遊び場、クラブ、人気のたまり場と同じように、人々が集まる独自のサイバースペースがあります。インターネットのアクセス性に関して言えば、ウランバートルは最も接続性の高い都市の1つです。サイバースペースの使い方を知っていれば、旅行の計画は数回クリックするだけで済みます。インターネットを介して、ウランバートルはこれまでにないほど国際社会とつながっています。誰もが職場、自宅、路上でインターネットを使用しています。理髪店や食料品店では、誰もが携帯電話を見下ろしているのが見られます。

モンゴルには、様々な店舗、カフェ、レストランがたくさんあります。好むと好まざるとにかかわらず、インターネットは私たちのコミュニケーションの重要な部分になっています。そのため、この国への旅行を計画するために必要な情報を得るには、次のサイトをチェックすると便利です。モンゴルでイベントを企画したり、会議を開催する機会をお探しですか？ または、企業旅行の手配でサポートが必要ですか？ モンゴルは急速に新しいMICEの目的地の1つになりつつあります。これに関する詳細については、次のサイトをご覧ください。

これらのサイトは、市内または市外への旅行を考えている人にとっては素晴らしいサーフィンエリアです。地元のネットサーファーは、新しい情報や旅行の機会を求めて定期的にこれらのサイトを訪れます。きっとあなたも役に立つと思いますし、忘れられない旅行体験のためにこれらのサイトを試してみてもいいかもしれません。

市内には、同じ趣味を持つ旅行者を毎週ハイキングやトレッキングに結びつけるクラブがいくつかあります。これらのクラブは、ウランバートル周辺の山々に新しいトレイルを作るボランティア活動も頻繁に行っています。これらのクラブは、次のURLで見つけることができます：

khairkhan.hiking.club

モンゴルは、近代化の波にもまれても伝統が失われていない世界でも数少ない国の一つです。ダウンタウンから車でわずか十数キロのところにあるモンゴルの遊牧民文化を探索することができます。モンゴル風の乗馬も体験できます。これは、熟練した旅行者にとって絶対に体験すべきことの一つです。

モンゴルは、オフロード・ドライブに最適な目的地の1つです。何よりも素晴らしいのは、好きな裏道をドライブして、周辺地域を徒歩で探索できることです。陸路でのドライブは、この国の景色や音を探索する最も自由な方法の1つです。この製品を専門とする会社は次のとおりです。

www.bespokemongolia.com

www.MongoliaQuest.com

www.MongolianOutdoorTravel.com

気の弱い方でなく、鳥の目線でモンゴルを探検したい方は、テレルジ国立公園に向かう途中にある「フライセンター」のような場所を訪れてみてください。パラグライダーや超軽量飛行を体験できるサイトは次のとおりです：

www.monrevetours.com

モンゴルが天国のような場所であることに異論を唱える人はいないでしょう。夏には緑豊かな山々、冬には凍り付いた川の谷が白い絹のような雪に覆われ、四季を通じてサイクリングを楽しめる機会が豊富にあります。現在、専門ガイドとレンタル用具を提供する会社がいくつかあります。その1つが

www.mongolia-expeditions.com

国内でイベントや会議を開催する機会をお探しですか？ または、企業旅行の手配についてサポートが必要ですか？ モンゴルは急速に新しいMICEの目的地の1つになりつつあります。詳細については、次のサイトをご覧ください。

ウランバートルの夏は短く、冬は寒いかもしれませんが、だからといって楽しい時間を過ごせず、本物の冬の旅行を体験できないわけではありません。犬ぞりは最近とても人気があります。このリンクをご覧ください：

dogsledtoursmongolia

ウランバートル 近郊のアウトドア活動



あなたがもし、トレジャーハンターなら、モンゴル、ウランバートル近郊にはあなたを待っているいくつもの宝物がある。

1 上昇気流に乗って
山頂から風に向かってパラグライダーを広げて飛び立った空の旅は、上昇気流に乗って長時間快適に続く。ウランバートル近郊ではパラグライダー愛好者向けの場所がいくつもある。ヤールマグの丘を目印にたどり着けるボグド山のアルツアト渓谷は、標高1,200-1,400mの場所にあり、地表から200mの高さにある。ここから飛び立つと2-10分間のフライトを楽しめる。一方、ウランバートルの東側にあるバヤンズルフ山は標高1,800m、地表から600mの高さにある。ここから飛び立つと地表から1,000mの高さまで上昇でき、10分以上のフライトが可能だ。

2 自転車ツアー
ウランバートル市内にサイクリングロードはないが、ウランバートル市民はサイクリングが好きである。ロシア人農夫アルタモノフが1800年に発明し、1900年代初めに学者のS.シャグジが乗ったのがウランバートルの街で最初に自転車を紹介された歴史である。後にモンゴルの若者が1990年代に自転車で世界一周をした。一年中ウランバートル近郊では



7-70kmのコースをマウンテンバイクでサイクリングすることができる。

3 犬ぞり
マルコ・ポーロが13世紀にアジアを旅行した際、犬ぞりに乗っていたことが記録に残っている。ウランバートルから北東に行ったテレルジの川沿いに犬ぞりツアーがある。

4 乗馬ツアー
モンゴルに来たなら馬に乗らずに帰るのはもったいない。モンゴル馬は競走馬のような優雅さはないが、あなたの想像を超えるかけがえのない感覚を味わわせてくれるだろう。

5 ラクダツアー
ウランバートルの近くでラクダに乗ることができると聞いてあなたは信じられるだろうか？世界でも数少ないフタコブラクダに乗るツアーを旅行のメニューに加えてほしい。特に冬の時期が最適だ。越冬のために脂肪とエネルギーを蓄えたラクダのこぶは、よりしっかりして乗りやすくなる。

6 経験者ほど危険は少なく
ウランバートル近郊のツアーを検討するなら、ボグドハン山の頂上にある岩、ツェツエーグンまでのハイキングをお薦めする。市内中心部から南西に45km舗装道路を歩き、トゥブ県のゾーンモド市に入り、そこから北へ7km未舗装道路を歩くとマンジュシリ寺院に着く。そこで車を降り

てトレッキングを開始する。行程の前半はかなりの急勾配だが、後半は次第に勾配は緩やかになり、なだらかな草原を行くと標高2,268mのツェツエーグンに到着する。



時期が最適だ。越冬のために脂肪とエネルギーを蓄えたラクダのこぶは、よりしっかりして乗りやすくなる。

7 ゴルフ
ウランバートルの近くには、世界標準の18ホールのゴルフコースがいくつかある。夏のウランバートルは晴れて乾いた涼しい気候が多いので、ゴルフをするには最適だ。この時期にはアジアの他の街では非常に暑く、雨もよく降るので、ウランバートルにゴルフをプレーしに来る旅行者も多い。

8 自然を感じて
モンゴルではカヤックやボートで川下りをするのに適した川や、冒険やバランス感覚、旅行者の経験や技を試すのに適した多くの川がある。ウランバートル近郊でちょっとした旅行をしたい人には、トーラ川の川下りをお薦めする。川の流れはほとんどが穏やかだが、部分的には少し急流もあり、倒木もあるこの川は、ヘンテイ山脈のハギーン・ハル湖を源流とし、704km流れてオルホン河に合流する。

9 凍らない水
ウランバートル市の南を流れるトーラ川が氷結する季節でも、氷の下を水が流れている部分がある。その場所に行き、厳寒の寒中水泳を楽しむことができる。川から上がって氷の上に立ち、足の指が痛いと同時に足が熱くなってくるのが感じられるはずだ。

10 鳥たちの楽園
モンゴルには61目204科472種の鳥類が生息している。このうち、81種が留鳥で、391種は渡り鳥である。留鳥の活動は3月から活発になる。ウランバートル近郊の灌木の茂みで彼らの多くを見つめることができると言えば、あなたは信じられるだろうか？

11 トレジャーハンター
あなたがもし、トレジャーハンターなら、モンゴル、ウランバートル近郊にはあなたを待っているいくつもの宝物がある。ウランバートルには何が隠されているのだろうか？



UB周辺の屋外レクリエーション活動



旅は、風に向かってパラグライダーを広げ、垂直の風の流れに支えられて上空からスムーズに探索することから始まります。ウランバートル周辺には、パラグライダーに興味のある人のためのスポットがいくつかあります。

1. VERTICAL STREAM

ヤールマグテラスから行けるボグド山のアルツァト谷は、海拔1,200~1,400メートルの高さにあり、周囲より200メートル高い場所にあります。

2. MORE EXPERIENCE, LESS RISK

ウランバートル周辺を旅行したいなら、ツェツェンピークとしても知られるボグドハーン山のダシーン岩へのハイキング旅行に出かけましょう。市内中心部から南西に道路を45キロ走るとトゥブ県のズーンモドに到着します。その後、未舗装道路を7キロ走るとマンズシル寺に到着します。ここから車を降りて、ハイキングを始めます。道の前半はかなり急ですが、傾斜は徐々に緩やかになり、平地になります。そして、海拔2,268メートルのツェツェンピークに到着します。

UB周辺の屋外レクリエーション活動



3. サイクリング旅行

市内に自転車専用レーンはありませんが、ウランバートルの住民は自転車に乗るのが大好きです。1900年代初頭、学者のシャグジは、1800年に農民のエフイム・アルタマノフが発明した自転車に乗って、ウランバートルの街を疾走しました。これが、モンゴル人が初めて自転車に出会ったきっかけでした。その後、1990年代には、モンゴルの若者が自転車で世界を旅しました。好みに応じて、年間を通じて、市内やその周辺をマウンテンバイクで7~70キロの距離を走るサイクリングルートを楽しめます。

4. 乗馬

モンゴルに来たら、馬に乗らずに帰ることはできません。モンゴルの馬は他の馬種ほど雄大には見えないかもしれませんが、草原を自信たっぷりに歩く足取りで、他にはない体験ができます。



UB周辺の屋外レクリエーション活動



5. ラクダトレッキング

街の近くでラクダに乗れると言ったら信じますか？ 2つのこぶを持つフタコブラクダに乗ることで、旅に鮮明な思い出を加えることができます。フタコブラクダは世界でも非常に少ない場所にしか生息しておらず、特に冬は楽しいです。ラクダが冬に向けて十分な脂肪を蓄えているとき、こぶはより安全で快適であるように見えます。

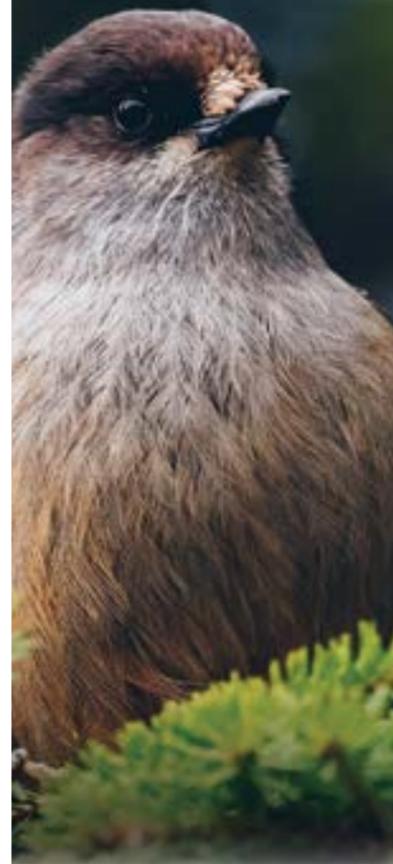
6. UB市周辺の川を楽しむ

モンゴルには、旅行者に競争や挑戦、力強さの体験を提供する川がたくさんあります。市街地の近くを日帰り旅行するには、トール川がおすすめです。ハギンハル湖から始まり、オルホン川で終わる全長704キロメートルのこの川は、穏やかな流れで、川岸には急流や倒木があり、カヤック愛好家に興奮を与えてくれます。

7. 冬にも凍らない小川

冬には、市の南を流れるトール川沿いに、凍っていない小川がある場所がいくつかあります。それらの場所に行くと、冬よりも冷たい水に勢いよく飛び込むことができます。裸足で氷の上に立つと、つま先が温かくなり、同時に冷たさでチクチクするのを感じられるでしょう。

UB周辺の屋外レクリエーション活動



8. GEOキャッシュ

モンゴルと大都市の周辺には、あなたを待っている隠し場所がいくつかあります。ウランバートルの住民は何を隠したのでしょうか？

9. ガーディアンズ・オブ・ザ・スカイ

モンゴルには61科204種に属する合計472種の鳥類が生息しています。そのうち81種は留鳥、391種は渡り鳥です。留鳥は3月から冬眠から目覚めて春を迎えます。ほとんどの鳥を居心地の良い市内の場所で観察できます。

10. ゴルフ

市内には最大20ホールのゴルフコースが数多くあります。夏のウランバートルは涼しく乾燥していて晴れた気候のため、ゴルフをするには最適な環境です。この時期、アジアの主要都市では猛暑や雨が降る可能性が高いため、多くの観光客がウランバートルのゴルフコースを訪れます。

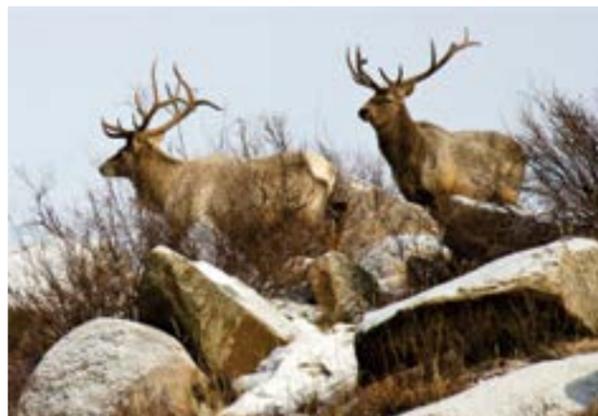
「エコ・ウランバートル360 ガイド」プロジェクト



「エコ・ウランバートル360ガイド」プロジェクトの一環として、ウランバートル市とその周辺の緑豊かな地域に、テレルジ、ボグド・ハーン山、ガチヨルト、ウリヤスタイ川、ベルフ、セルフ、シャルガ・モリト、ハンドガイト、イフ・バヤン、チンゲルテイ・ハイルハン、シャディブラン、ジグジド、アル・グント、ハルザン峠など20のハイキングコースが作られました。

旅行商品: ハイキング、マウンテンバイク、乗馬、花や哺乳類の観察、写真撮影、ツーリングスキ

アカシカ



ー、スノーシューハイキングなどが楽しめます。

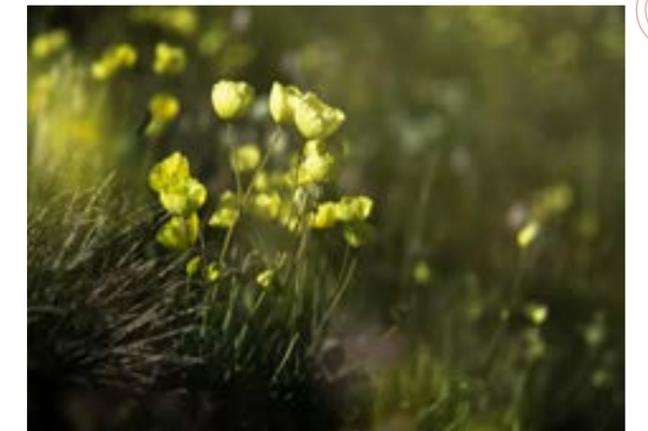
「エコ・ウランバートル360」ツアールートでは、17種の野生動物、22種の植物、30種の鳥類、そしてさまざまなユニークな自然の風景を観察する機会が提供されます。

動物: アカシカ、シベリアジャコウジカ、タルバガン、オオカミ、ノロジカ、リス、アイベックス、ヒナコウモリ、ダウリアハタリス、ネズミなど。

シベリアジャコウジ



鳥類: ワシミミズク、オオノスリ、サカツラガン、ナベコウ、オオライチョウ、クロハゲワシ、オオハクチョウ、アカツクシガモ、ヘラサギ、キレンジャク、コキンメフクロウ、ベニヒワ、アカゲラなど。



ウランバートル市でのバードウォッチング



モンゴルは中央アジアに位置し、北方林、草原、ゴビ（半砂漠）、多くの湿地など、比較的手つかずの自然生息地の広大な領土を持っています。モンゴルは鳥類の繁殖にとって重要な国であり、鳥類のバイオマスは春に比べて秋に4~5倍に増加し、調査に基づいて登録された重要な鳥類地域は合計70か所あります。

モンゴルでは約500種の鳥類が記録されています。そのうち80%は渡り鳥で、81種は留鳥です。さらに、247種の渡り鳥がモンゴルで繁殖し、10種以上がシベリアから冬に渡来します。

モンゴルでは、東アジア・オーストラリア・フライウェイ、中央アジア・フライウェイ、西太平洋・フライウェイとアフリカ・ユーラシア・フライウェイの4つの主要な世界的な渡り鳥のルートが確認されています。現在、ウランバートル周辺では220種以上の鳥が記録されています。

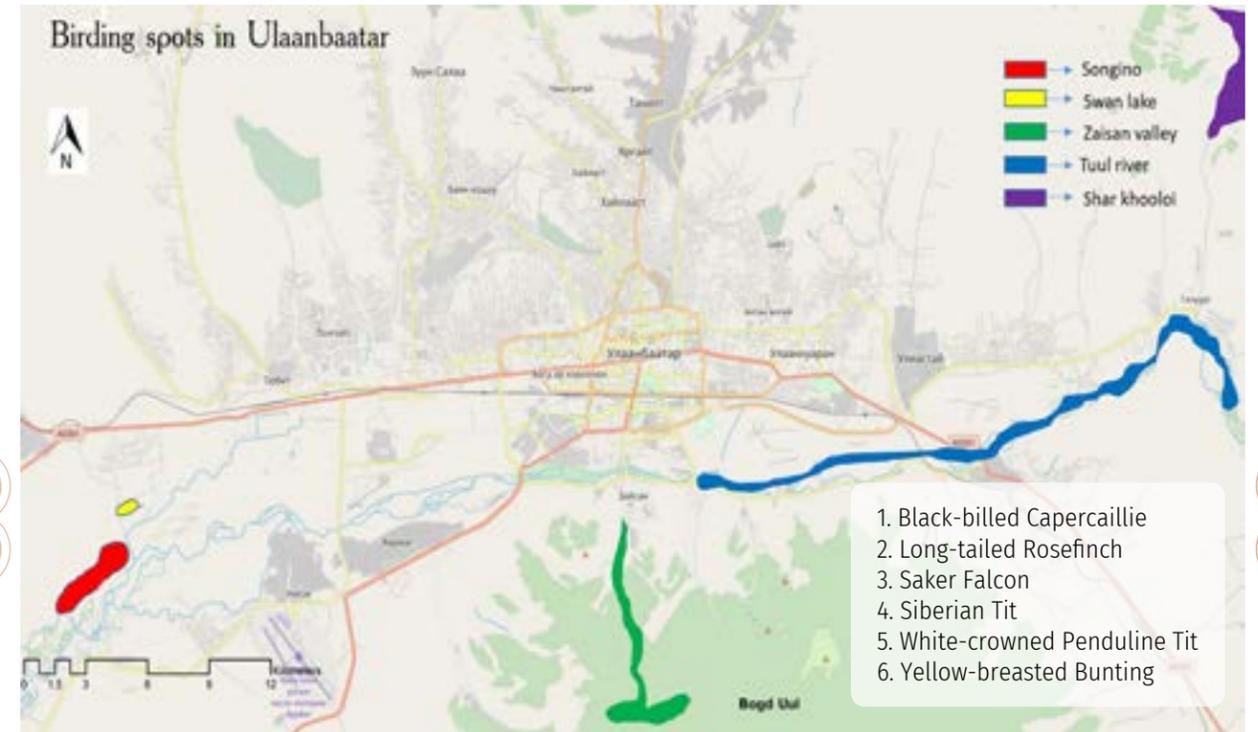
繁殖期にウランバートルとその周辺にやってくる渡り鳥や国際的に絶滅が危惧されている鳥の一部を紹介します。

ウランバートル周辺地域の主要な5つのバードウォッチングサイトについて説明します。

ソングノ山:ソングノリゾートの近くに位置し、リゾート周辺で栽培されている果樹は多くの鳥を引き付けます。そのため、年間を通じて鳥の種類の多様性が比較的高いです。ソングノは、冬と渡り鳥の季節に訪れるのに最も人気の場所です。



Office 702, Undram Plaza, II khoroo, Ikhtoiruu, Bayanzurkh District
 +(976) 8000-4649
 www.mbcc.mn; Email: info@mbcc.mn
 Mongolian-Bird-Conservation-Center



「フン」湖:この湖はソングノ山の東の麓に位置し、新しく建設された「オートマーケット」の西側にあり、繁殖期と渡りの季節に多くの水鳥にとって重要な繁殖地およびねぐらの生息地を提供します。

ボグド・ハーン山のザイサン谷: ザイサン谷から上ると、ズーン谷とバルーンシレー谷の両方が、典型的な森林のスズメ目の鳥、特にキツツキを観察するのに最適な場所です。

トール川: 川と河畔林の近くには多くの鳥類の重要な生息地があります。観察を深めるには、マーシャル橋からガチュールト村まで川沿いを歩くことをお勧めします。

ガチュールト村のシャルホーロイ谷: この谷に生息する鳥類の多様性はボグド山のザイサン谷に似ていますが、シベリアコガラ、アカオカケス、フクロウ、オオライチョウ、エゾライチョウなど、ザイサン谷では見られない特別な種も見られます。ガチュールトバス停から北に約25kmのところにあります。



歴史・文化の名スポット

イフ・テンゲル谷の岩絵

ウランバータル市の南側、イフ・テンゲル谷の東端の北側に向いている岩盤に赤墨や黒墨で描かれているモンゴル文字、漢字、チベット文字を交えた岩絵があります。1960年にソ連の研究者A.P.オクラドニコフによって発見されました。赤墨で描かれた絵は7カ所にあり、内側に多くの斑点があって四角で囲まれている絵が7つ、一人または2人、3人、5人で手を繋いで立っている人の絵が29、飛んでいる鷲の絵3つ、道を歩いている馬の絵が2つあり、二重線、斑点、四角の囲いなどの消えかけている絵の断片が残っています。この岩絵は銅器時代のものとされており、研究者たちの意見では古代遊牧民の風景を描かれているとのこと。一方、黒い墨で「永遠なる青空」をモンゴル文字で書いたもの、デールを着た人、振り向いている斑点の雌鹿、シャーマンの絵などが描かれています。デールを着た人は女性で、真正面

から描いており、丸い顔、モンゴル人特有の細い目などを鮮明に映しています。丈が長く、袖がゆったりのデール、ブーツトップが太い靴を履いています。デールの胸元には連なっている飾りが見えます。興味を引くのは被っている帽子の天辺には鳥の羽のようなものが付いています。研究者たちによれば、この帽子は13世紀頃のモンゴルの貴族の女性が被る「ボグタグ」という帽子であると判断しています。モンゴルの元朝の皇妃たちの肖像画ではこのような帽子を被っており、ヘンティー県のデルゲルハーン村の地域で行った発掘で古代モンゴル女性の墓からこのような帽子がいくつも発見されました。イフ・テンゲル谷のこの岩絵はモンゴルの女性の初めての絵となります。この岩絵は2020年に発行されたモンゴル国閣議決定第13号によって国で保護されることになりました。



ベルフ谷の匈奴貴族の墓

紀元前3世紀～紀元1世紀までの時代に係る匈奴の墓は世界では珍しく、ベルフ谷のセルベ川の西側に沿って高い山で囲まれており、南側では樹木がなく、一方では北側が針葉樹森林が茂っている台地に位置しています。この墓は完全に調査されておらず、2020年に教育・文化・科学・スポーツ大臣による命令第A/161号によってウランバータル市の保護下に入りました。モンゴルに住んでいた遊牧民の初めての国家である匈奴の貴族の墓が発見されたベルフ谷はウランバータル市の面積に位置し、モンゴル及び中央アジア地域における匈奴の考古学研究では大きく位置づけられています。

モンゴルだけでなく、世界の考古学の遺産となるこの墓は1998年にモンゴル国によって保護されている歴史・文化遺産リストに追加されました。ユーラシア地域において発見・登録された匈奴の貴族の13の墓や墓地の内、9つがモンゴル国土で発見され、匈奴が現在のモンゴル国を中心に住んでいたことが分かります。その内、ウランバータル市郊外に発見されたのはこのベルフ谷の匈奴貴族の墓であります。1961年にN.セル・オドジャブ、T.ホルワットらが率いたモンゴル・ハンガリー共同研究調査団がベルフ谷の墓地を調査し、馬具、兵器、鉄で製造された製品などを発見し、初めて研究業界に公開されたのです。





ボグドハーン山

ボグドハーン山は首都ウランバートル市内に位置しており、世界初の自然保護区域として決定されたとの歴史の記録がある。ボグドハーン山はユネスコ世界遺産に1996年8月6日に登録され、モンゴル独特な美しい自然の中に首都ウランバートルを見守っている。

ボグドハーン山は首都ウランバートルの南部に位置しており、東西に広がっている。最高峰ツェツェーグン山は標高2268メートルであり、初心者でも楽しめる登山やハイキングスポットである。

ボグドハーン山は首都ウランバートルに極めて近く位置していることにも関わらず野生動物が豊富に生息しており、シカ、アルガリ、アイバックス、キツネ、オオヤマネコ、マヌルネコ、クロテン、マーモット、ハリネズミ、リスなどを初めとする56種類の哺乳類、タカ、ハ

ヤブサ、ヒバリ、ツバメ、イワヒバリ、クロヅル、フクロウなどの13種類の鳥がいる。

自然豊富なボグドハーン山には岩絵や碑文、墓石などの歴史遺産も点在している。

52種の哺乳動物があるのうち、全種の40.3%および最も多いのはげっ歯類であって肉食動物が25.0%、昆虫の7.7%、手足類9.6%、ウサギ種は

7.7%に該当している。
 全部で60歳の265類427種の植物が植えられている。その種族によると、
 複合花族 (ASTERACEAE) 46種、
 バラ花詰 (ROSACEAE) 37種、
 豆族 (FABACEAE) 36種、
 ミツバチ態 (RANUNCULACEAE) 29種、
 IRSHIMB属 (SCROPHULARIACEAE) 20種が大部分である。



旅路ルートがあります。
 過去3年間で5,000人以上の外人観光客と145,000人
 以上の国民観光客がボグド・カーン山域を旅したことが記録された。

保護地の53.1または23129~クタールの地域には素井がある。森林地域の98.8%または18153~タメールの敷地は自然林、0.1%または14~クタールの土地で栽培、1.1%6または201~クタールの地方では低木が占めている。

旅路ルート：種類はオフロードバイクとハイキング用の道路がありますが、すべては10つの



モンゴルオルレハイキングコース

01 Route

Mt. Bogdkhan Богдхан уул



02 Route

Mt. Chinggis (Gorkhi-Terelj National Park)



MONGOL OLLE

MONGOL OLLE TRAIL

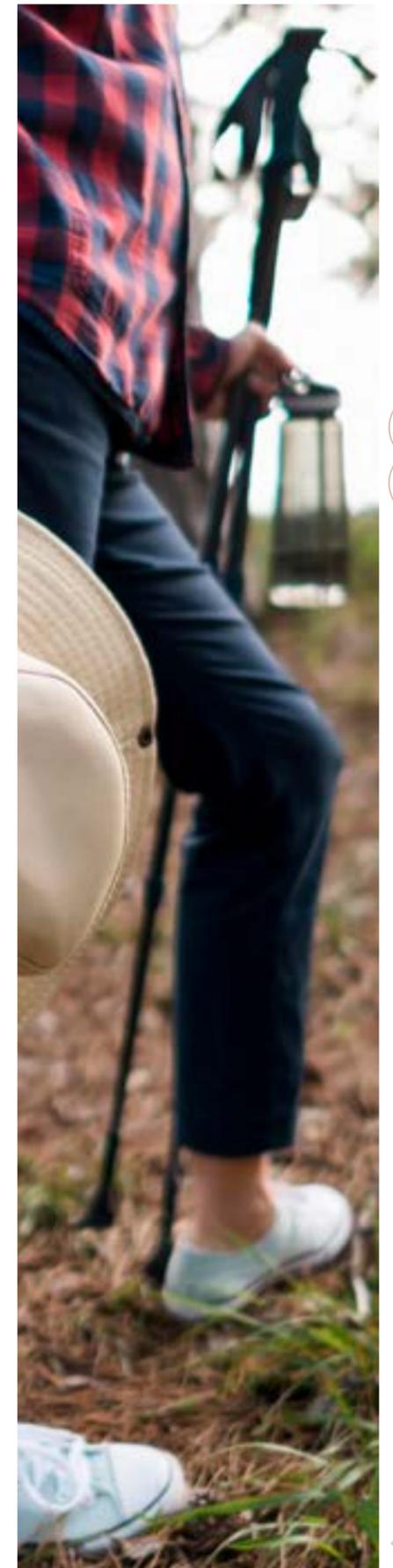
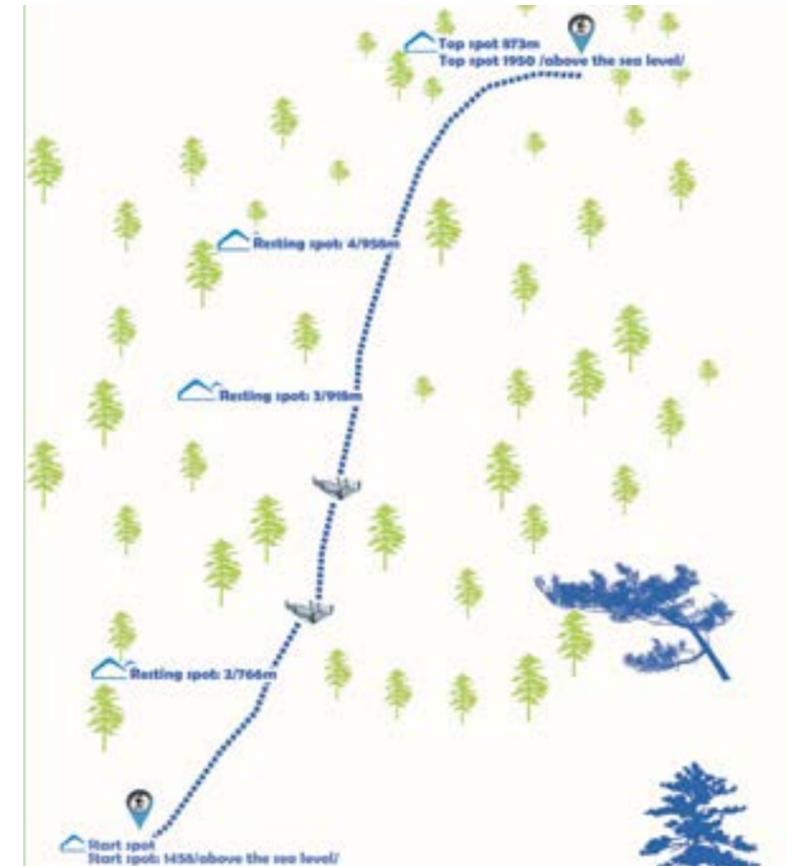
Route 01 Mt. Bogdkhan
Route 02 Mt. Chinggis
Route 03 Uguumurin Am

03 Route

Uguumurin Am



Zaisan-Baruun shiree hiking route



ウランバートル市内のハイキングコース



モンゴル向け観光客の付加価値税 (VAT) 払い戻しの案内

モンゴルを探索して、免税ショッピングをお楽しみください！
ようこそモンゴルへ！付加価値税 (VAT) 払い戻しを申請して、旅行をさらに思い出深いものにしてください。以下の簡単な手順に従って、購入費用の一部を取り戻してください。

- 付加価値税 (VAT) 税率: 10%**
対象となる購入に対して 10% の VAT 払い戻しをお楽しみください。
- 最低支出: 領収書ごとに 500,000.0 MNT**
VAT 還付金を受けるには、ショッピング領収書の合計が 500,000.0 MNT 以上であることをご確認ください。
- 誰が対象になりますか?**
モンゴルで90日以内に滞在する観光客はVAT還付を受けることができます。ご訪問が観光目的であることをご確認ください。
- 免税品:**
払い戻しは、機内持込手荷物に入れて輸出される品目に適用されます。
- 還付不可商品:**
 - アルコール、タバコなどの特定の製品
 - 薬、医薬品
 - 食物
 - 金、銀、レアメタルや鉱物資源
 - 成文法により輸出が禁止されている製品
 - 付加価値税法の第 15.17.5 条により、機内持込手荷物に入れて輸出できない品物
 - VAT が免除される製品

モンゴルでの免税ショッピングに関する重要な情報

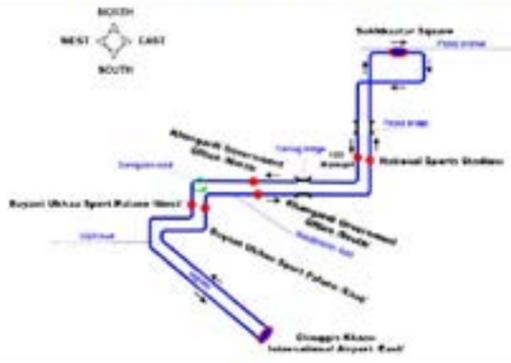
ステップ1 登録 	免税ショッピングをお楽しみいただくには、「EBARIMT」アプリを通じてオンライン登録又は空港到着ホールTAX FREEカウンターに行きデジタルバーコードを取得してください。
ステップ2 ショッピング 	<ol style="list-style-type: none"> TAX FREEの看板を掲げている店舗を探します。 領収書ごとに最低 500,000.0 MNT (VAT を含む) を支払います。 販売アシスタントにデジタルバーコードをスキャンして、免税領収書を生成するように依頼します。
ステップ3 払い戻し手続き 	<ol style="list-style-type: none"> チンギスハーン国際空港の2階にあるTAX REFUNDカウンターを見つけます。 パスポートをスキャンし、「税金還付機」で税金還付をご申請ください。 購入した製品の金額又は数量が一定金額を超える場合、税関職員に製品を提示して検査を受けるよう求められます。そうしないと、還付不可の商品となる場合があります。 入国審査通過後、空港で現金または支払いカードを通じてVAT 還付を請求してください。

モンゴルを訪れてくれてありがとうございます。皆様のご来場いただきまして誠にありがとうございました。モンゴルの美しさと文化を探索する時間を楽しんでいただけたら幸いです。付加価値税 (VAT) の払い戻しを忘れずに申請して、ショッピング体験をお楽しみください。安全な旅を！



このQRコードを読み取って「EBARIMT」アプリをダウンロードしてください。

X:20 "SUKHBAATAR SQUARE - CHINGGIS KHAAN INTERNATIONAL AIRPORT"



X:20 "5 SHAR - CHINGGIS KHAAN INTERNATIONAL AIRPORT"



ТАКСИНЫ ҮНИЙН МЭДЭЭЛЭЛ
TAXI INFORMATION

НИСЭХ БУУДАЛААС УБ ХОТРУУ
FROM AIRPORT TO CITY CENTER 100,000₮
30\$

НИСЭХ БУУДАЛААС ЯАРМАГ
FROM AIRPORT TO YARMAG 80,000₮
25\$

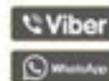
НИСЭХ БУУДААС БУЯНТ УХАА
FROM AIRPORT TO BUYANT UKHAA 70,000₮
20\$

1 ТАКСИ / 3 ХҮН /
1 TAXI SHARE / 3 PERSON / 35,000₮
10\$

VIP TAXI 150,000₮
45\$



☎ 1800-1880, 9490-1880
🌐 www.taximongolia.com



観光情報センター

国内外の観光客や市民に観光に関する情報・アドバイスを提供し、ウランバートル市の観光商品・サービスを宣伝する目的の観光情報センターの住所・連絡先を提供します。



支店1

- 📍 モンゴル、ウランバートル市、スフバートル地区、6 ホル、スフバートル広場
- ☎ + (976) 7010-8687
- 🕒 月曜～日曜 09:00 - 18:00



支店2

- 📍 モンゴル、モンゴル情報センター、スフバートル地区、4 ホル
- ☎ + (976) 7609-2191
- 🕒 4月～10月 09:30-10:00



支店3

- 📍 モンゴル、モンゴル郵便局、チンゲル亭 ウランバートル市第1ホル地区
- ☎ + (976) 7010-8687
- 🕒 09:00-18:00



支店4

- 📍 モンゴル、コンコル村、観光案内所、バヤンズルク地区、第 11 ホル
- ☎ + (976) 7609-2191
- 🕒 夏季 09:00-18:00



支店5

- 📍 モンゴル、トゥブ県、フシギト溪谷、チンギスハーン国際空港、観光案内所
- 🕒 月曜 - 日曜 08:00 - 20:00



支店6

- 📍 モンゴル、ウランバートル、バヤンズルフ地区、11位 ホル、ホンコル村「モンゴルオーレ」インフォメーションセンター
- ☎ + (976) 7609-2191
- 🕒 平日 09:30 - 18:30



НИЙСЛЭЛИЙН АЯЛАЛ
ЖУУЛЧЛАЛЫН ГАЗАР

ubpass

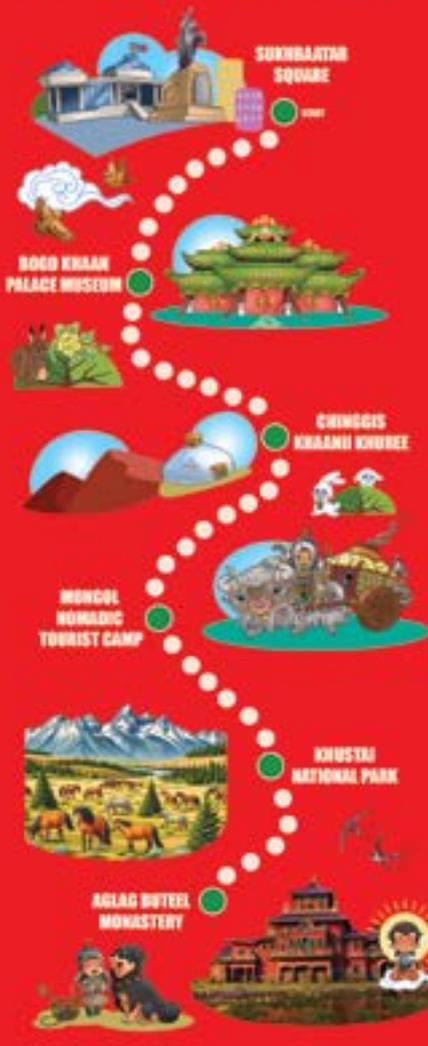


SCAN NOW!



Ulaanbaatar City tour bus

ATTRACTIONS OF THE WEST PART OF ULAANBAATAR CITY



ATTRACTIONS OF THE EAST PART OF ULAANBAATAR CITY



ATTRACTIONS NEARBY ULAANBAATAR CITY

